



LCD モニタ

ユーザーガイド

DesignVue デザイン モニタ | PD シリーズ

AQCOLOR®
Colors You Can Trust

著作権

Copyright © 2023 by BenQ Corporation. All rights reserved. 本書のいかなる部分も、BenQ Corporation の事前の書面による同意なく、電子的、機械的、磁氣的、光学的、化学的、手動その他の手段を問わず、複製、転載、改変、検索システムへの保存、他言語またはコンピュータ言語への翻訳を行うことはできません。

免責

BenQ Corporation は、明示的または暗示的を問わず、本書の内容に関して、特に保証、商業的可能性、特定目的への適合性に関しては、いかなる表明または保証もいたしません。また、BenQ Corporation は、お客様に改訂または修正の通知を行う義務を負うことなく、本書を改訂したり、本書の内容を随時修正する権利を有します。

BenQ ちらつき防止技術は、モニターのちらつきの主な原因を消去し、DC 調光による安定したバックライトを提供することで、目に優しい環境を実現します。フリッカーフリーの性能は、ケーブルの品質、電源の安定度、信号への干渉の有無、アースの品質等の外的要素をはじめ、さまざまな要素により影響を受けます。(フリッカーフリー モデルのみが該当します。)

BenQ ecoFACTS

BenQ has been dedicated to the design and development of greener product as part of its aspiration to realize the ideal of the "Bringing Enjoyment 'N Quality to Life" corporate vision with the ultimate goal to achieve a low-carbon society. Besides meeting international regulatory requirement and standards pertaining to environmental management, BenQ has spared no efforts in pushing our initiatives further to incorporate life cycle design in the aspects of material selection, manufacturing, packaging, transportation, using and disposal of the products. BenQ ecoFACTS label lists key eco-friendly design highlights of each product, hoping to ensure that consumers make informed green choices at purchase. Check out BenQ's CSR Website at <http://csr.BenQ.com/> for more details on BenQ's environmental commitments and achievements.



製品サポート

常に最新かつ正確な情報をお客様にお届けするために、内容が予告なく変更される場合があります。本書の最新版およびは、ホーム他の製品情報はホームページでご覧いただけます。提供されるファイルは、モデル毎に異なります。

1. コンピュータがインターネットに接続されていることを確認してください。
2. [Support.BenQ.com](https://support.benq.com) からお住まい国のウェブサイトをご覧ください。ウェブサイトのレイアウトと内容は、地域 / 国によって異なります。
 - ユーザーマニュアルおよび関連ドキュメント
 - ドライバとアプリケーション
 - (EU のみ) 解体について : ユーザーマニュアルのダウンロードページからご覧いただけます。本書は 規定 (EU) 2019/2021 に基づき本機を修理またはリサイクルするために提供されています。保証期間内の補修については、必ずお住まい地域のカスタマーサービスにお問合せください。保証外の製品の補修を希望される方は、互換性を確保するために専門のサービススタッフにお問合せになり、BenQ からパーツを取り寄せるようお勧めします。お客様ご自身で解体する場合は、お客様ご自身の責任において行ってください。本機の解体に関する情報が見つからない場合は、お住まい地域のカスタマーサービスにお問合せください。

ファームウェアのアップグレード

本製品を最高の状態でご利用いただくためには、最新のファームウェアバージョン (リリースされている場合) にアップグレードして、最新のユーザーマニュアルをご参照いただくようお勧めします。

モニターをアップグレードするには、BenQ のホームページから **Display QuickKit** ソフトウェアをダウンロードしてインストールしてください。

- [Support.BenQ.com](https://support.benq.com) > モデル名 > **Software & Driver** (ソフトウェアとドライバ) > **Display QuickKit** (モニターに互換性がある場合のみ)
- [Support.BenQ.com](https://support.benq.com) > **Display QuickKit** (地域によって異なります)

モニターが起動すると、自動的に互換性がチェックされます。詳細は、ソフトウェアのユーザーマニュアルをお読みください。

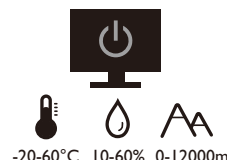
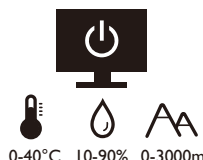
モニターが **Display QuickKit** と互換性がなく、ファームウェアの新しいバージョンがリリースされているかどうか分からない場合は、BenQ カスタマーサービスにお問い合わせください。

安全のために

電源についての安全対策



モニターが最高の性能で動作するよう、また、モニターをできるだけ長くお使いいただくために、以下の安全上の注意点に従ってください。



- 付属の電源コード以外のものは使用しないでください。
- 付属した電源コードは本機以外の電気機器等では使用できません。
- 機器の安全確保のため、機器のアースは確実に接続して使用してください。
- アースの接続は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。また、アースを外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。
- 電源コードは必ず本製品に付属の物を使用してください、同梱した電源コードセットは本機以外の電気機器で使用できません。破損したり、磨耗したりしている電源コードは絶対にご使用にならないでください。
- (リモコンが付いている場合) 適切できなタイプの電池をお使いになると、爆発する恐れがあります。使用済みの電池は、指示に従って破棄してください。
- モニターの故障の原因となりますので、電源供給が安定しない場所でのご使用はお止めください。
- 接地されたコンセントに電源コードを接続してからモニターの電源を入れてください。
- 複数の差込口が付いた延長コードをご使用になる場合は、合計の電気負荷量にご注意ください。
- 電源コードを外す前に必ずモニターの電源を切ってください。

アダプタ付きのモデル：

- 本 LCD モニターに付属の電源アダプタだけをご使用ください。別のタイプの電源アダプタをご使用になると、故障の原因となり大変危険です。
- 機器を操作したり、バッテリーを充電したりするためにアダプタを使用するときには、十分な通気を確保してください。電源アダプタを紙やその他の物で覆わないでください。キャリーケースに入れたままで電源アダプタをご使用にならないでください。
- 電気アダプタを適切な電源に接続します。
- 電源アダプタをお客様ご自身で補修することはお止めください。内部に補修可能なパーツは含まれていません。故障したり、濡れたりした場合には、本体を交換してください。

装着

- 次のような場所ではモニターをご使用にならないでください。
 - 気温が極度に高いまたは低い、あるいは直射日光が当たる場所
 - ホコリが立ちやすい場所
 - 湿度が高い場所、雨に濡れやすい場所、水場の近く
 - 自動車、バス、電車、その他の乗り物の中など、振動や衝撃を受けやすい場所
 - ラジエーター、ヒーター、石油ストーブ、あるいは発熱源の近く（オーディオのアンプを含みます）などの加熱装置の近く
 - 適切な通気がない密閉された場所（クローゼットや本棚）
 - 不安定な場所、あるいは斜面
 - 化学物質や煙のあたる場所
- モニターの持ち運びには十分注意してください。
- モニターの上に重いものを載せると、ケガやモニターの破損の原因となる場合があります。
- お子様モニターにぶら下がったり、上ったりしないようにしてください。
- 梱包材料はお子様の手の届かない場所に保管してください。

操作

- 視力を保護するために、ユーザーガイドをお読みにになり最適なスクリーン解像度と表示距離に設定してください。
- 目の疲労を縮減するために、モニターをご使用になるときには定期的に休憩を取ってください。
- 長時間次のような行為はしないでください。焼けた痕が残る場合があります。
 - 小さすぎてスクリーン全体に表示されない画像を再生します。
 - スクリーンに静止画を配置します。
- モニターにキズが付きますので、モニターパネルに直接指で触れたり、ペンや先が尖ったモノで触れたりしないでください。
- ビデオコネクタを頻繁に接続したり、取り外したりすることを繰り返すと、モニターの故障の原因となります。
- このモニターは主に個人使用を対象として設計されています。このモニターを公共の場や苛酷な環境でご使用になる場合は、お近くの BenQ サービスセンターへお問い合わせください。
- 電気ショックの原因となりますので、お客様ご自身でモニターを解体したり、修理したりしないでください。
- モニターから異臭がしたり、異常なノイズが聞こえたりした場合は、直ちにお近くの BenQ サービスセンターへお問い合わせください。

注意

- モニターとの距離は、画面の対角線幅の 2.5 倍から 3 倍を目安にしてください。
- 長時間スクリーンを見つめたまましていると、眼精疲労を生じさせ視力が低下する場合があります。1 時間作業を行うごとに 5～10 分間目を休めてください。

- 遠くにある物を見つめることで、目の疲れを軽減できます。
- 頻繁に瞬きをしたり、目の体操をするとドライアイを防止することができます。

リモコンの安全に関するご注意（リモコンが付属している場合）

- リモコンを直接熱源や高湿度の場所に置いたり、火の中に投げ込んだりしないでください。
- リモコンを落とさないでください。
- リモコンを水や液体に濡らさないでください。そうしなければ、故障の原因となります。
- リモコンと製品のリモート センサーの間に物を置かないでください。
- リモコンを長期間使用しない場合は、バッテリーを外してください。

バッテリーを安全にお使いいただくために（リモコンが付属している場合）

間違ったタイプのバッテリーをご使用になると、化学物質が漏れ出したり、爆発したりする恐れがあります。次の点に注意してください。

- バッテリーは必ず極性に注意して、正しい方向に挿入してください。
- バッテリーは種類によって異なる特性を持っています。異なる種類のバッテリーを混ぜて使用しないでください。
- 古いバッテリーと新しいバッテリーを混ぜて使用しないでください。古いバッテリーと新しいバッテリーを混ぜて使用すると、バッテリーの寿命が短くなったり、古いバッテリーから液体が漏れ出したりする場合があります。
- バッテリーが破損している場合は、直ちに新しいものに交換してください。
- バッテリーから漏れ出した液体が肌に付着すると、皮膚に炎症を起こす場合があります。バッテリーから化学物質が漏れ出した場合は、すぐに乾いた布でふき取り、できるだけ早くバッテリーを交換してください。
- 保管状況が異なるため、製品に挿入されているバッテリーの寿命が短くなっている場合があります。最初の使用から3カ月以内、あるいはできるだけ早く交換してください。
- 古いバッテリーの処理、またはリサイクルについては、お住まい地域の規定に従ってください。お近くの行政機関、または廃棄物回収業者にお尋ねください。

付属のリモコンにボタン電池が入っている場合は、次の点にご注意ください。

- 電池を飲み込まないようにご注意ください。化学物質により火傷をする危険性があります。
- 本機に付属するリモコンにはボタン電池が入っています。ボタン電池を飲み込んでしまった場合は、2時間で内臓が火傷をする危険性があり、死に至ることもあります。

- 未使用、使用済みに関わらず電池はお子様の手の届かない場所に保管してください。バッテリーコンパートメントがしっかりと閉まっていない時には、製品のご使用を中止し、お子様の手の届かない場所に保管してください。
- 電池を飲み込んでしまったと思われる場合、または体内に入り込んでしまったと思われる場合は、直ちに病院を受診してください。

お手入れと清掃

- 床の上、または机の上に直接モニターを下向きに置かないでください。そうしなければ、パネル面にキズがつく恐れがあります。
- 機器を操作する前に、建物構造にしっかりと固定されていなければなりません。
- (壁および天井取り付けに対応するモデル)
 - モニターおよびモニター取り付けキットは、平らな壁面に取り付けてください。
 - 壁の素材と標準の壁取り付けブラケット（別売り）がモニターの重量を支えるのに十分な強度を備えているか確認してください。
 - ケーブルを LCD モニターから外すときには、まずモニターのスイッチと電源を切ってください。
- 清掃を行う前に、必ず壁のコンセントからモニターの電源コードをはずしてください。LCD モニターの表面を、けば立ちのない非研磨性の布でふきます。液体、エアゾール、ガラスクリーナーは使用しないでください。
- キャビネット背面または上面のスロットと開口部は換気用のものです。これらの部分をふさいだり、覆ったりしないようにしてください。モニターは、ラジエータまたは熱源の近くや上部に置かないでください。また、適切な換気が提供されている場所に設置してください。
- モニターの上に重いものを載せると、ケガやモニターの破損の原因となる場合があります。
- モニターの梱包材料は、将来搬送する必要があるとのために捨てずに保管しておいてください。
- 電力定格、製造日、ID 表示については、製品ラベルをご覧ください。

保守

- 本製品の保守をご自身で行わないでください。カバーを開けたり取り外したりすると、高電圧部分やその他の危険な部分に触れるおそれがあります。上記の誤用、または落下や取り扱いミスなどその他の事故については、認定サービス担当者に連絡を取り、保守を依頼してください。
- 電源コード、接続ケーブル、リモコン、電源アダプタの交換については、BenQ カスタマーサービスにお問い合わせください。
- 購入店にお問い合わせになるか、Support.BenQ.com からお住まいの国のウェブサイトをご覧ください。






Support.BenQ.com

保証内容

次のいずれかの状況では、モニターの保証は無効となりますのでご注意ください。

- 保証に必要なドキュメントが許可されない使用により改ざんされた場合、または判読できない場合。
- 製品に記載されているモデル番号または製品番号が改ざん、削除、はがされた、あるいは判読できない場合。
- 許可されないサービス組織または人物により補修、変更、あるいは改変された場合。
- モニターを不適切な状態で保管したことに起因する破損（直射日光、水、火に当たった場合を含みますが、これらに限りません）。
- モニター以外の外部信号（アンテナ、ケーブル TV など）が原因で生じる受信問題。
- モニターの誤使用または濫用による故障。
- このモニターを対象販売エリア外でご使用になる場合は、ご使用になる前にモニターがその地域の技術規格に合っていることを確認してからご使用ください。そうしなければ製品が故障する場合があります、その場合の補修はお客様でご負担いただくこととなります。
- 製品出荷時に提供されていないソフトウェア、パーツ、および本来同梱されていないアクセサリを使用した結果、問題（データの消失またはシステムの不具合）が生じた場合は、お客様ご自身の責任となります。
- 電気ショックや火災などの危険性がありますので、アクセサリ類（電源ケーブルなど）は装置に付帯されていたものだけをご使用ください。

表記

アイコン / 記号	アイテム	意味
	警告	誤用や不適切な操作、または行いによって生じるコンポーネントやデータへのダメージ、またはケガなどを防止するための情報です。
	ヒント	タスクを完了するための便利な情報です。
	注意	補足的情報です。

本書では、メニューを開くための手順は簡略化して記載されています。例：
メニュー > システム > 情報。


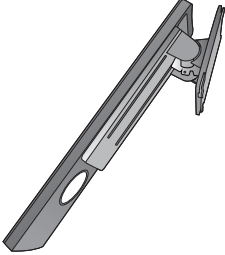
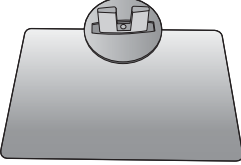

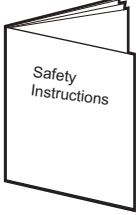
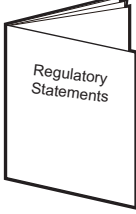
目次

著作権	2
免責	2
製品サポート	3
ファームウェアのアップグレード.....	3
安全のために	4
電源についての安全対策.....	4
装着.....	5
操作.....	5
リモコンの安全に関するご注意（リモコンが付属している場合）.....	6
バッテリーを安全にお使いいただくために（リモコンが付属している場合）.....	6
お手入れと清掃.....	7
保守.....	7
保証内容.....	8
はじめに.....	11
モニタの外観	13
前面ビュー.....	13
底面ビュー.....	13
背面ビュー	13
接続	14
モニタの USB-C™ ポートのパワーデリバリー	15
モニタハードウェアの取り付け方法	16
スタンドとベースの取り外し	20
モニタの高さ調節	21
モニタの回転	22
表示角度の調整.....	23
モニタ取り付けキットの使用法	24
モニタの調整	25
コントロール パネル.....	25
基本メニュー操作	26
ホットキーのカスタマイズ	28
画面モードの調整.....	28
適切な画像モードを選択する.....	28
2種類のビデオソースを操作する（CPU 切替器）.....	28
デュアルビューを使う	31
MST（マルチストリーム転送）を使って複数のモニタを接続する	32
HDR テクノロジーを使う	33
画面の輝度を自動的に調整します（輝度自動調整）.....	34
メインメニューのナビゲート	35
表示メニュー	36

シャープネス画像メニュー	37
画像の詳細設定メニュー	39
オーディオメニュー	42
CPU 切替器メニュー	43
システム メニュー	45
エルゴノミクス メニュー	50
トラブルシューティング	52
よくある質問 (FAQ).....	52
それでも解決できないときは.....	55

はじめに

以下のものが揃っていることを確認してください。万一、不足しているものや破損しているものがあつた場合には、製品をお買い上げいただいた販売店まで直ちにご連絡ください。

BenQ LCD モニタ	
モニタ スタンド	
モニタ ベース	
クイック スタート ガイド	
安全にお使いいただくために	
準拠法規	

<p>電源コード (付属アイテムはモデルや地域により異なります)</p>	
<p>ビデオケーブル : DP</p>	
<p>ビデオケーブル : USB-C™</p>	
<p>ビデオケーブル : HDMI (オプション アクセサリ *)</p>	
<p>USB ケーブル</p>	



• アクセサリ類やここに示す画像は、実際の製品とは異なる場合があります。また、パッケージの内容は将来予告なく変更される場合があります。この製品に付帯されていないケーブルは、個別に購入することができます。

• モニタの梱包材料は、将来搬送する必要があるときのために捨てずに保管しておいてください。専用の発泡スチロールは、移動中にモニタを保護するのに適しています。

• * 製品によって付属または別売りになる場合があります。

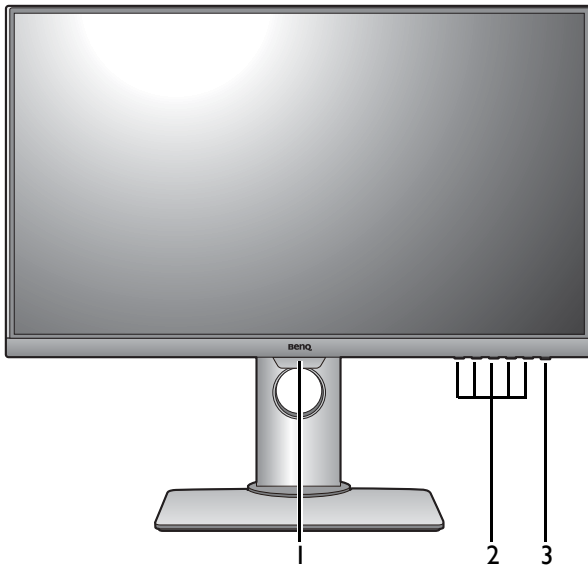


• 製品とアクセサリ類は、小さいお子様の手の届かない場所に保管してください。

• *: 製品によって付属または別売りになる場合があります。

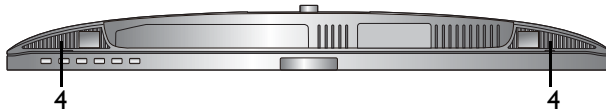
モニタの外観

前面ビュー



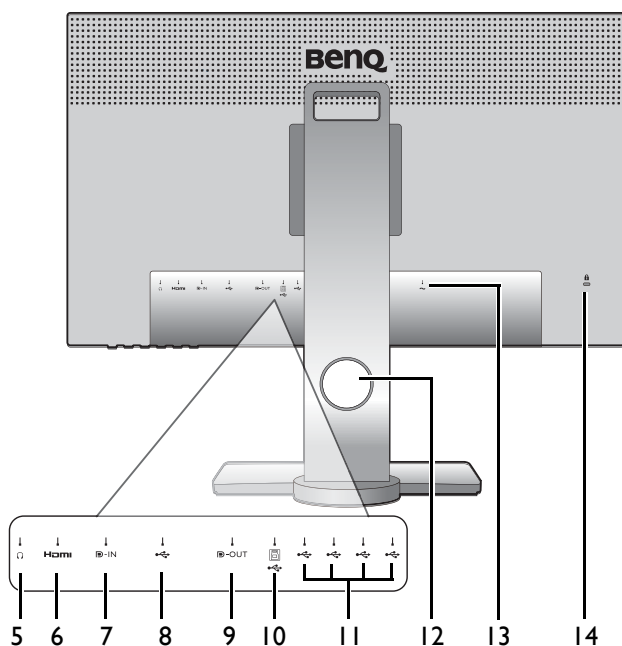
1. ライトセンサー
2. コントロールボタン
3. 電源ボタン

底面ビュー



4. スピーカー

背面ビュー



5. ヘッドフォンジャック
6. HDMI ソケット
7. DisplayPort ソケット
8. USB-C™ ポート (データ転送および最大給電 65W)
9. DisplayPort 出力ソケット (MST 用)
10. USB 3.1 ポート (アップストリーム : PC に接続)
11. USB 3.1 ポート (ダウンストリーム、USB デバイスに接続)
12. ケーブル整理用穴
13. AC 電源入力ジャック
14. Kensington ロックスロット

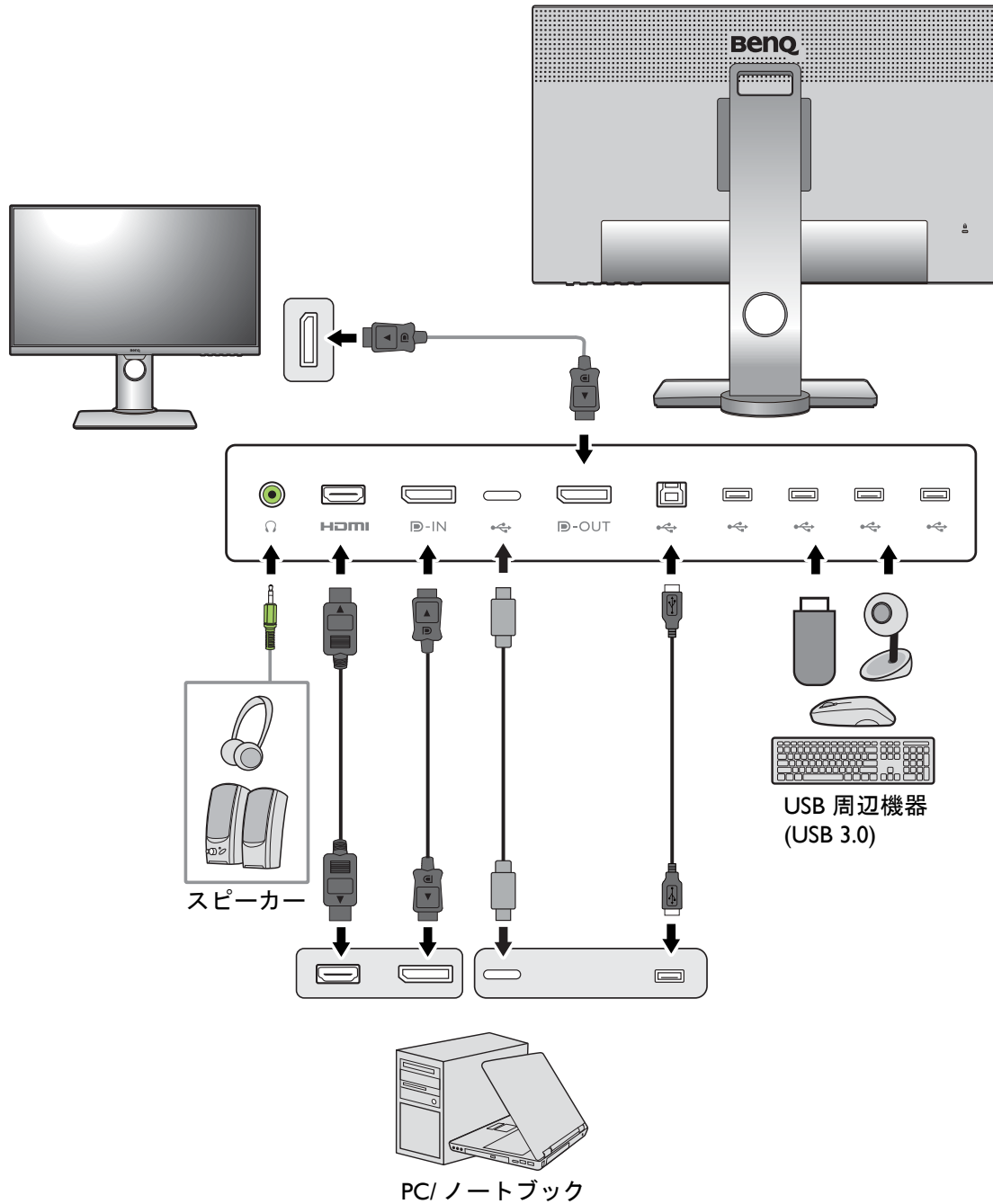


- 製品仕様により、対応する解像度とタイミングは異なります。
- 上記の例はモデルにより異なります。
- 地域によって製品図が異なる場合があります。

接続

次の接続図は参照用です。この製品に付帯されていないケーブルは、個別に購入することができます。

接続方法についての詳細は、17 - 18 ページをお読みください。



モニタの USB-C™ ポートのパワーデリバリー

パワーデリバリー機能を使用すると、モニタは接続した USB-C™ デバイスに電力を供給することができます。電力量はポートにより異なります。デバイスが作動するのに十分な電力供給が受けられるように、適切なポートに接続されていることを確認してください。

パワーデリバリー機能を使用すると、モニタは接続した USB-C™ デバイスに電力を供給することができます。

PD2705Q
USB-C™ パワーデリバリー
5V / 3A
9V / 3A
12V / 3A
15V / 3A
20V / 3.25A

- 接続したデバイスには、USB パワーデリバリーによる充電機能に対応した USB-C™ コネクタが搭載されていなければなりません。
- モニタが省エネモードのときにも、接続したデバイスに USB-C™ ポートから充電することができます。(*)
- USB のパワーデリバリーは最大で 65W です。接続したデバイスが操作やブートアップに 65W 以上を必要とする場合は（電池が切れているとき）、正規の電源アダプタをお使いください。
- 情報は標準の試験条件に基づき参照用として提供しております。ご使用環境に違いがあるため、互換性を保証するものではありません。別途購入した USB-C™ ケーブルをご使用になる場合は、USB-IF 認証の電力供給およびビデオ / オーディオ / データ転送機能が付いたケーブルであるかご確認ください。



* : **USB-C 復帰機能**を有効にすると、モニタが省エネモード中に USB-C™ で充電することができます。
システム > **USB-C 復帰**を選択した後、**オン**を選択します。

モニターハードウェアの取り付け方法



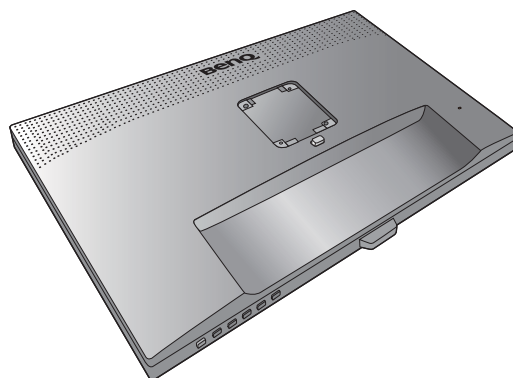
- モニタベースの取り付けや取り外しを行う場合には、平らで物や突起物がない安定した場所の上で行ってください。モニターが転倒・落下して怪我や故障の原因となります。
また、モニターベースの取り付けや取り外しを行う際には、必ずモニターの電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電や故障の原因となります。
- スクリーンの表面を指で強く押さないでください。
- サポートされるタイミングは、入力信号によって異なります。ウェブサイトから **Resolution file** (解像度ファイル) をダウンロードします (3 ページの「製品サポート」を参照してください)。詳細は、「Resolution file」(解像度ファイル) の「プリセット 画面モード」をお読みください。

1. モニタベースを設置します。

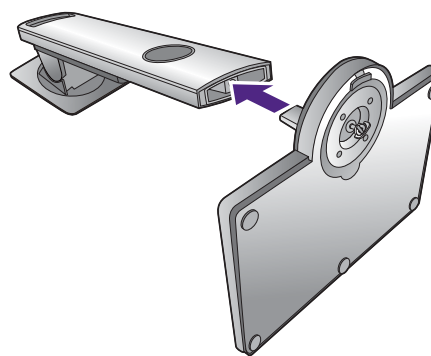


物や突起物がない平らで安定した場所に、モニターの画面が傷つかないようにクッションとして柔らかい布などを敷き、モニターの画面を下向きにしておきます。物や突起物などがございすると傷や破損の原因となります。

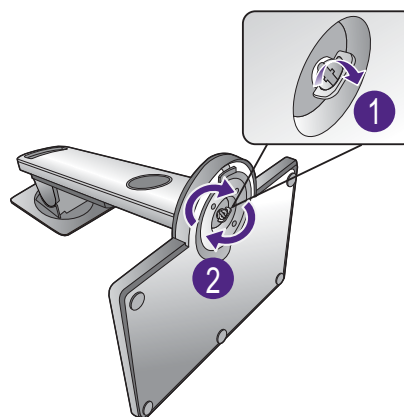
モニターをしっかりと持ち、モニターのスタンドアームを上を引き上げてください。



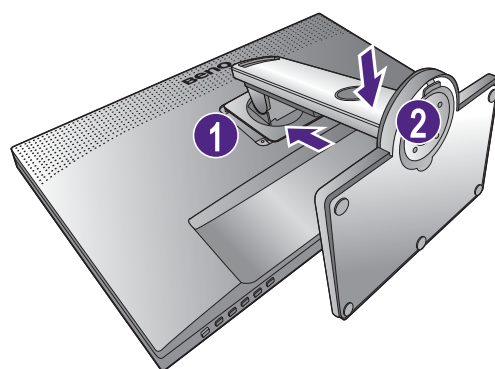
図に示すとおり、モニターベースにモニタースタンドを取り付けます。



図に示すとおり、モニターベースの底面にある蝶ネジを締めてください。



しっかりと固定されるとカチッという音がします。スタンドアームとモニタの向きを合わせて(①)、カチッという音がしてロックされるまで押し込んでください(②)。



ゆっくりと引き上げてみて、しっかりと設置されたことを確認します。

ゆっくりとモニターを持ち上げて、机の上に正面を向くように設置します。



照明の反射を最小限に留めるために、モニタの位置とスクリーンの角度を調整してください。



ご使用のモニターは、端から端までモニターとなりますので取り扱いには十分ご注意ください。スクリーンの表面を指で強く押さないでください。スクリーンの角度を調整するには、図に示すようにモニタの上部と下部に手を置いてください。

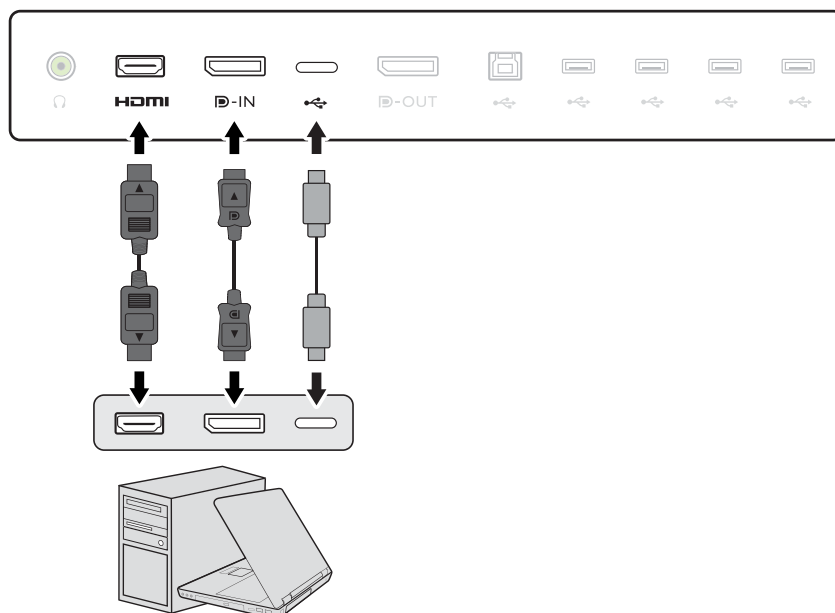


2. PC ビデオケーブルを接続します。



製品に同梱されているビデオケーブルと右図に示すソケットは、お住まい地域で販売される製品によって異なる場合があります。

1. ビデオケーブルを接続します。



- HDMI ケーブルのプラグを、モニタの HDMI ポートに接続します。もう片方のケーブルプラグをデジタル出力装置の HDMI ポートに接続します。
- DP ケーブルのフェライトフィルタが付いていない方のプラグをモニタのビデオソケットに接続します。もう片方のケーブルプラグをコンピュータのビデオソケットに接続します。
- USB-C™ ケーブルのプラグをモニタのビデオソケットに接続します。もう片方のケーブルプラグをコンピュータのビデオソケットに接続します。



モニターとコンピュータの電源を入れたら、画像が表示されていない場合は DP ケーブルを外してください。先にモニターを DP 以外のビデオ ソースに接続します。モニターの OSD メニューからシステムおよび DisplayPort を選択し、1.4 から 1.1 に設定を変更します。設定が完了したら、現在のビデオケーブルを一旦外し、DP ケーブルを接続します。OSD メニューを開く方法は、26 ページの「基本メニュー操作」をご覧ください。

2. 使用中にプラグが外れないように、すべてのネジをしっかりと締めてください。
3. もう片方のビデオケーブルをデジタル出力装置（コンピュータなど）のポートに接続します。

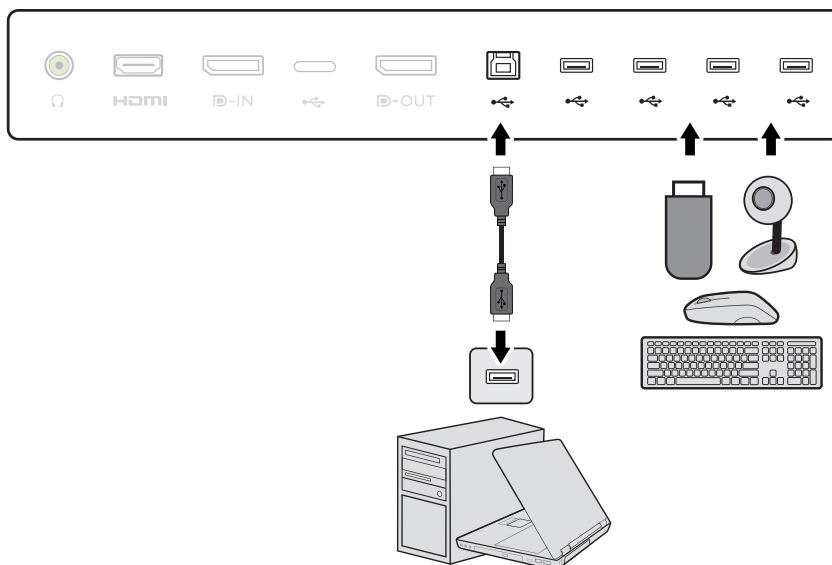
3. ヘッドフォンを接続します。

また、モニターの背面にあるヘッドフォンジャックにヘッドフォンを接続することもできます。




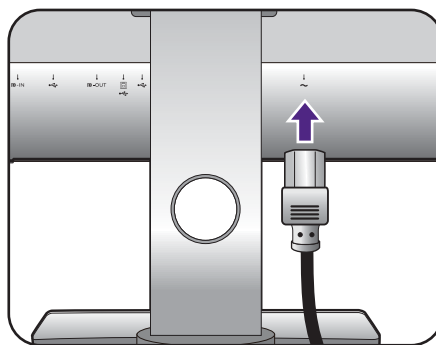
4. USB デバイスを接続します。

1. USB ケーブルで PC とモニターを接続します（モニター背面にあるアップストリーム USB ポートを使用）。このアップストリーム USB ポートは、PC とモニターに接続されている USB デバイスの間でデータを通信します。
2. モニターの別の USB ポート（ダウンストリーム）を使って、USB デバイスを接続します。これらのダウンストリーム USB ポートは、USB デバイスとアップストリームポートの間でデータを通信します。



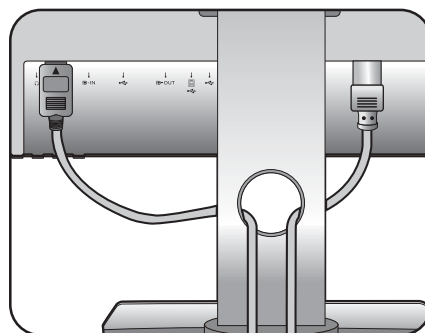
5. モニタに電源ケーブルを接続します。

モニタの背面の  と記載されたソケットに電源コードをつなぎます。この時点では、まだコンセントにプラグを差し込まないでください。



6. ケーブルを整理する。

ケーブル管理ホールにケーブルを差し込みます。

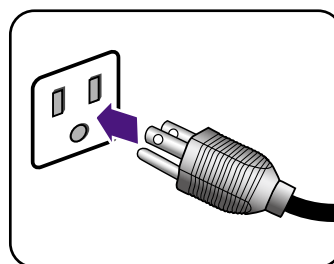


7. 電源に接続し、電源をオンにします。

電源コードをコンセントに差し込んで、電源を入れます。



地域によって製品図が異なる場合があります。

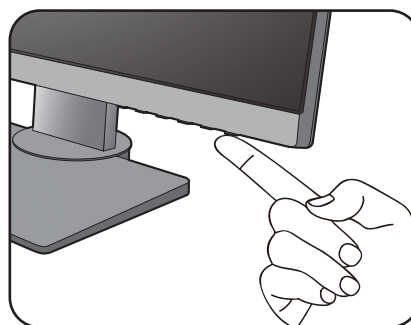


モニタの電源ボタンを押して、モニタをオンにします。

コンピュータもオンにします。



本製品を長くお使いいただくため、電源の操作はコンピュータを使用して行ってください。

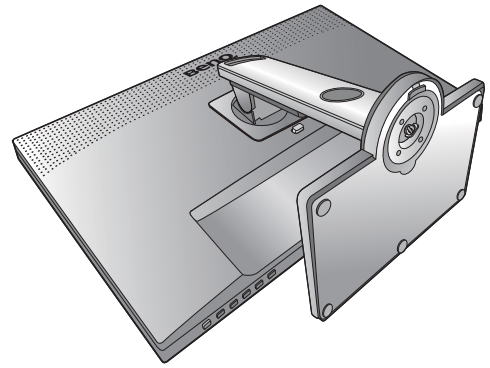


スタンドとベースの取り外し

1. モニタと作業場所の準備をしてください。

電源ケーブルを外す前にモニタの電源を切ります。
モニタ信号ケーブルを外す前に、コンピュータの電源も切ります。

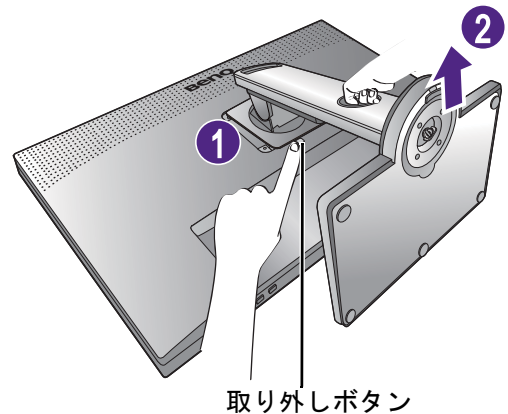
ベースを取り外す際モニタとスクリーンにキズがつかないように、机の上の物を一旦別の場所に移します。次にクッションとしてタオルなどの柔らかい物の上にスクリーンを下向きに置きます。



物や突起物がない平らで安定した場所に、モニタの画面が傷つかないようにクッションとして柔らかい布などを敷き、モニタの画面を下向きにしておきます。物や突起物などがございすると傷や破損の原因となります。

2. モニタスタンドを外します。

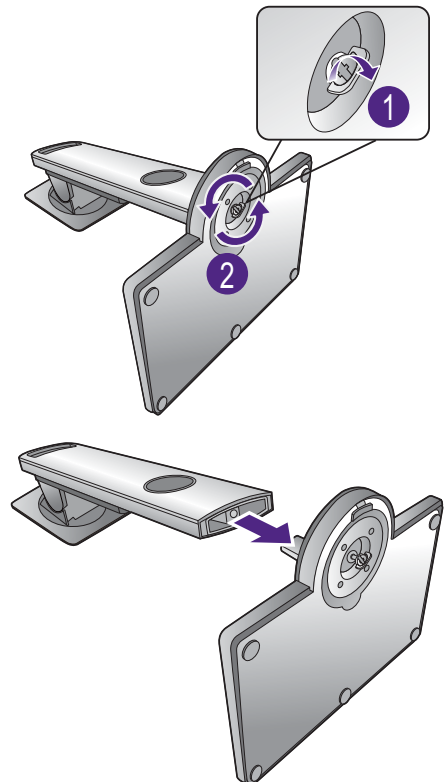
クイック リリース ボタン (①) を押したままにして、スタンドをモニタ (②) から外します。



3. モニタのベースを外します。

モニタベースの底部にある蝶ネジを弛めます。

スタンドからベースを外します。

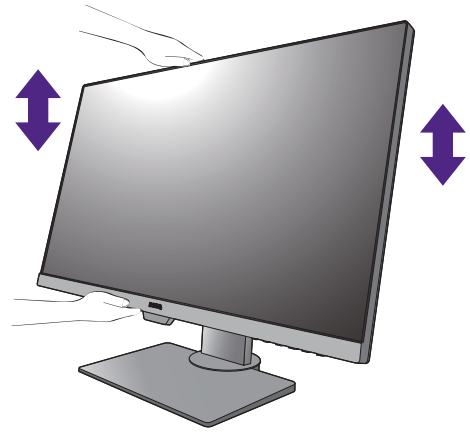


モニタの高さ調節

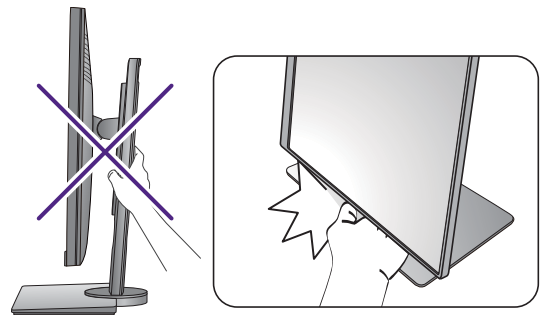
モニタの高さを調整するには、モニタの上下両側を持ち、モニタを下げたり、好きな高さに引き上げたりします。



ご使用のモニタは、端から端までモニタとなりますので取り扱いには十分ご注意ください。スクリーンの表面を指で強く押さないでください。



- 高さ調整用スタンドの上部または下部、またはモニタの底面にハンドルを取り付けると、モニタを上げ下げするときにケガをする恐れがありますので、これらの位置には取り付けないでください。この作業を行う間は、お子様をモニタに近付けないでください。
- モニタがポートレートモードのときに高さ調整を行いたい場合は、ワイドスクリーンによりモニタを最低の高さまで下げることはできませんのでご注意ください。



モニタの回転

1. ディスプレイを回転させます。

モニタを縦方向に回転させるには、まずディスプレイを 90 度回転させる必要があります。

Display Pilot Software (Display Pilot ソフトウェア) を起動し (Support.BenQ.com からダウンロードできます。3 ページの「製品サポート」をお読みください)、自動回転にチェックマークを付けてモニタと共にディスプレイも自動回転させるように設定します。

または、デスクトップを右クリックして、ポップアップメニューから画面の解像度を選択します。方向でポートレートを選択し、設定を適用します。



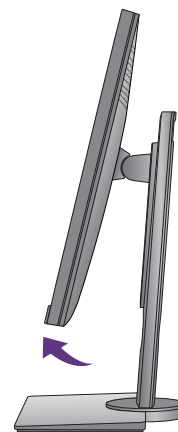
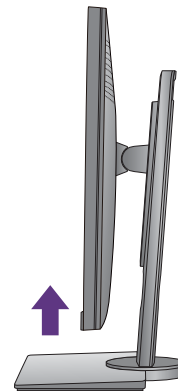
PC のオペレーティングシステムによって、スクリーンの方向を調整する手順が異なります。詳しくは、オペレーティングシステムのヘルプドキュメントを参照してください。

2. モニタを最高の高さまで上げ、傾斜させます。

ディスプレイをゆっくりと持ち上げて、最高の高さまで上げます。次にモニタを傾けます。



モニタを横置きモードから縦置きモードに回転できるように、モニタが縦方向に伸びるはずですが、

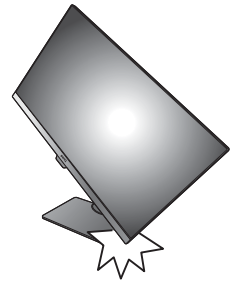


3. 図に示す通り、モニタを右回りに 90 度回転させます。





回転させるときに LCD ディスプレイの角がモニターベースに当たらないように、まずモニターを最高の高さまで引き上げてください。モニターの周囲はケーブルを接続するのに十分なスペースを保ち、周囲には物を置かないでください。接続した USB 周辺機器やオーディオ ケーブルを外します。

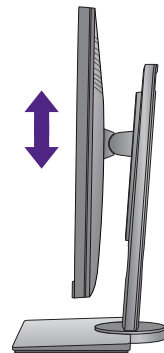


4. モニターを適切な角度に調整します。



表示角度の調整

上下、左右、高さを調整して、モニターを見やすい角度に合わせてください。製品の仕様については、ホームページをご覧ください。



モニター取り付けキットの使用法

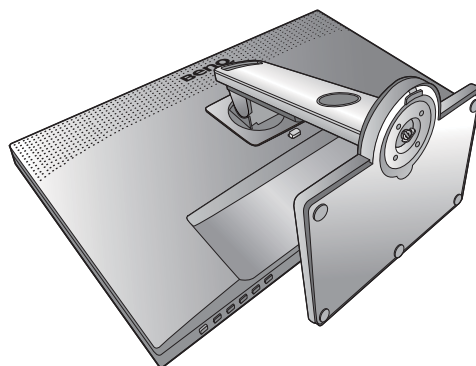
LCD モニタの背面には 100mm のパターンを持つ VESA 規格のマウントがあります。これを使ってモニターを壁に設置することができます。モニター取り付けキットの取り付けを始める前に、以下の注意事項をお読みください。

注意事項

- モニタおよびモニター取り付けキットは、平らな壁面に付けてください。
- 壁の素材と標準の壁取り付けブラケット（別売り）がモニタの重量を支えるのに十分な強度を備えているか確認してください。重量については、ホームページで仕様書をご覧ください。
- ケーブルを LCD モニタから外すときには、まずモニタのスイッチと電源を切ってください。

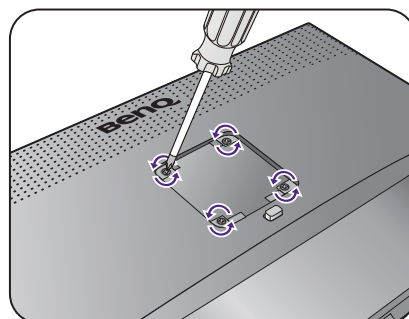
1. モニタスタンドを外します。

スクリーンを下向きにして、ショック防止用の素材を置いた平面な場所に寝かせてください。ステップ 1 から 2 に従って、モニタスタンドを取り外します [20 ページの「スタンドとベースの取り外し」](#)。



2. 後ろカバーのネジを外します。

プラスドライバを使って、後ろカバーのネジを緩めてください。ヘッドが磁石になっているドライバを使用すると、ネジを紛失するのを防止することができます。



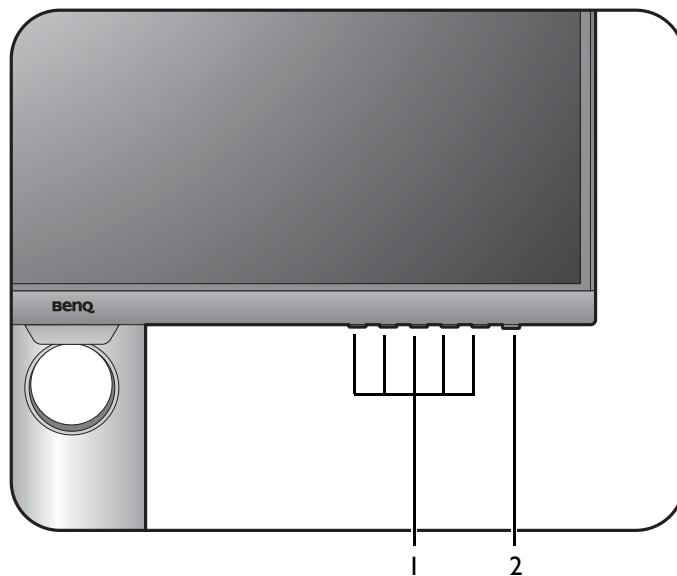
- 将来モニタスタンドを使用する可能性がある場合は、モニターベース、スタンド、ネジは保管しておいてください。

3. 購入された壁設置用ブラケットの説明書をお読みになり、モニターを正しく設置してください。

- 4 つの M4 x 10 mm ネジを使って VESA 標準壁取り付けブラケットをモニターに固定します。すべてのネジがきつく、しっかりと締められているか確認してください。壁取り付けおよび安全のための注意については、専門の技術者、または BenQ サポートセンターにお問い合わせください。

モニタの調整

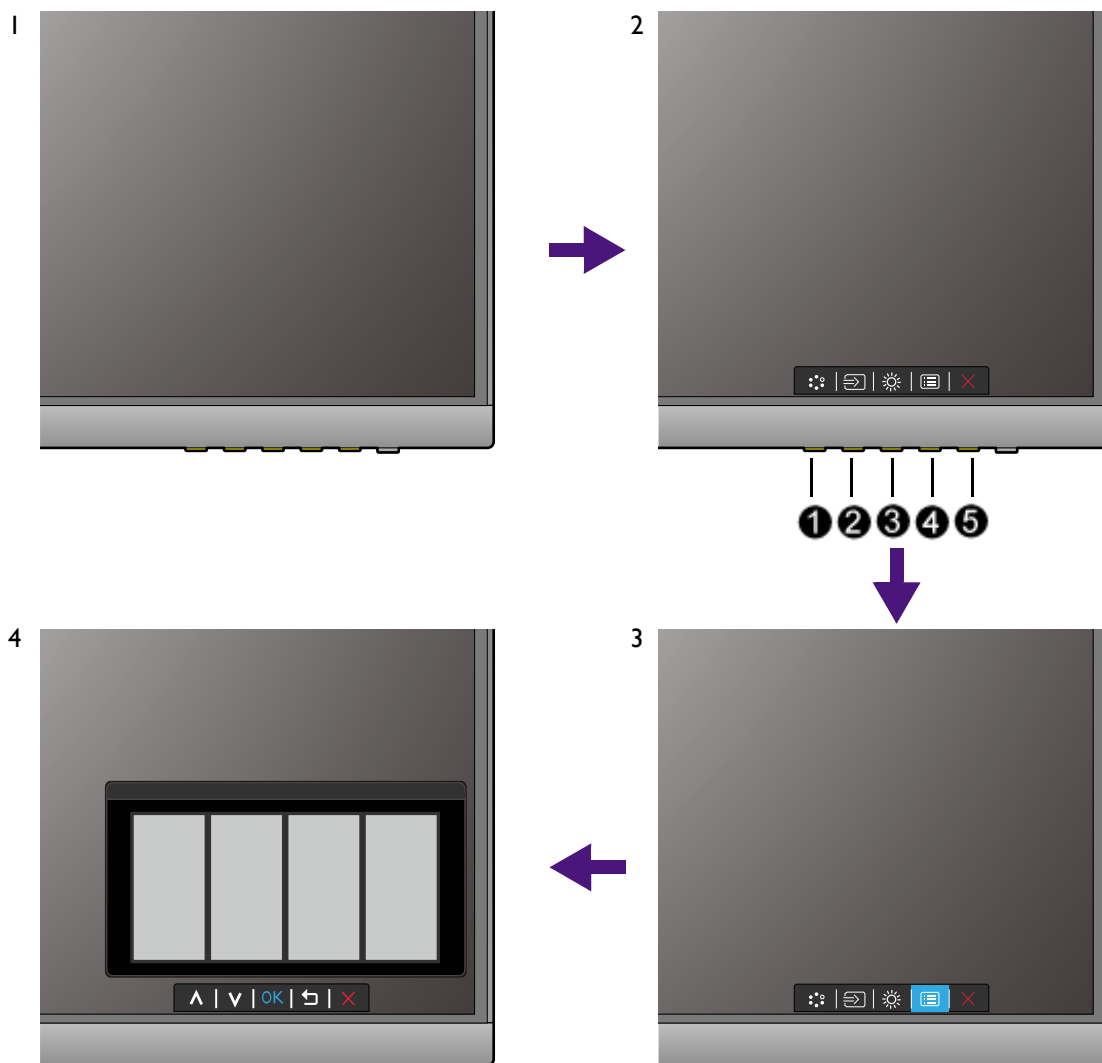
コントロールパネル




番号	名前	説明
1.	コントロールキー	画面に表示されている機能やメニューアイテムにアクセスします。それぞれのキーの右側にあります。
2.	電源キー	電源をオン/オフします。

基本メニュー操作

すべての OSD (On Screen Display) メニューには、コントロールキーでアクセスできます。モニタの設定はすべて OSD で行うことができます。



1. コントロールキーをどれでも押します。
2. するとホットキーメニューが表示されます。左3個のコントロールはカスタムキーで、特定機能にアクセスするよう設計されています。
3.  (メニュー) を選択してメインメニューを開きます。
4. メインメニューでコントロールキーの横にあるアイコンに従って、調整または選択します。メニューオプションについての詳細は、[35 ページの「メインメニューのナビゲート」](#)を参照してください。

番号	ホットキーメニューの OSD	メインメニューの OSD アイコン	機能
①	カスタム キー 1	∧	<ul style="list-style-type: none"> デフォルトでは、このキーは画像モードのホットキーです。デフォルト設定を変更するには、28 ページの「ホットキーのカスタマイズ」を参照してください。 上 / 設定を上げます。
②	カスタム キー 2	∨	<ul style="list-style-type: none"> デフォルトでは、このキーは入力のホットキーです。デフォルト設定を変更するには、28 ページの「ホットキーのカスタマイズ」を参照してください。 下 / 設定を下げます。
③	カスタム キー 3	→ / OK	<ul style="list-style-type: none"> デフォルトでは、このキーは輝度のホットキーです。デフォルト設定を変更するには、28 ページの「ホットキーのカスタマイズ」を参照してください。 サブメニューが開きます。 メニューアイテムを選択します。
④	メニュー	☰ / ↶	<ul style="list-style-type: none"> メインメニューが有効になります。 前のメニューに戻ります。
⑤	終了	×	OSD を終了します。



- OSD = オンスクリーン ディスプレイ。
ホットキーはメインメニューが表示されていないときにしか使用できません。ホットキーはキーを何も押さなければ数秒で消えます。
- OSD コントロールをロック解除するには、キーをどれでも 10 秒間押し続けてください。

Display Pilot でディスプレイをコントロールする

ディスプレイを操作するための代替手段として、**Display Pilot** ソフトウェアが提供されています。[Support.BenQ.com](https://support.benq.com) からダウンロードしてインストールしてください (3 ページの「製品サポート」を参照)。

次のような主要機能があります：


- OSD メニューのコントロール。
 - モニタと共にディスプレイも回転させるように自動設定します (22 ページを参照)。
- 詳しくは、**Display Pilot** のユーザーガイドをお読みください。



対応するオペレーティングシステムについては、[BenQ ウェブサイト](https://www.benq.com) をご覧ください。


ホットキーのカスタマイズ

左3つのコントロールキー（カスタムキーとも呼びます）はホットキーとして機能し、あらかじめ設定された機能を直接実行できます。これらのキーのデフォルト設定は別の機能に変更することができます。

1. コントロールキーをどれでも押して、ホットキーメニューを開きます。（メニュー）を選択してメインメニューを開きます。
2. システムを選択します。
3. 変更したいカスタムキーを選択します。
4. サブメニューでこのキーに割り当てたい機能を選択します。設定が完了すると、メッセージが表示されます。

画面モードの調整

16:9以外の縦横比、購入されたモデルのパネルサイズとは異なるサイズの画像を表示するには、モニタで画面モードを調整します。

1. コントロールキーをどれでも押して、ホットキーメニューを開きます。（メニュー）を選択してメインメニューを開きます。
2. 画像の詳細設定と画面モードを選択します。
3. 適切な画面モードを選択してください。設定は直ちに反映されます。

適切な画像モードを選択する

このモニタには、さまざまな画像タイプに合った画像モードがいくつか用意されています。画像モードの種類については、[39 ページの「画像モード」](#)をご覧ください。

画像の詳細設定と画像モードを選択した後、任意の画像モードを選択します。

2種類のビデオソースを操作する（CPU切替器）

2台のコンピュータシステムをお持ちであれば、それぞれのディスプレイを操作するために2つのキーボードとマウスを行ったり来たりするのは疲れるはずですが、CPU切替機能と1台のモニタに十分な数のI/Oポートがあることで、1つのキーボードとマウスだけで作業を行えるようになります。

CPU切替器機能を使用するには、**CPU切替器**から**USB-C**または**USB Upstream**を切り替えます。

- **CPU切替器 > USB-C** : USB-C™ 入力に切り替えます。
- **CPU切替器 > USB Upstream** : USB-C™ 以外のビデオ入力に切り替えます。適切に設定されていれば、設定した入力に切り替わり、同時にキーボードとマウスコントロールも切り替わります。入力を決定するには、[29 ページの「ご使用になる前にCPU切替器用に2つ目の映像信号を設定します。」](#)をご覧ください。

カスタムキーの1つを**CPU切替器**に割り当てると、オプションを簡単に切り替えることができます。[28 ページの「ホットキーのカスタマイズ」](#)を参照してください。

ご使用になる前に CPU 切替器用に 2 つ目の映像信号を設定します。

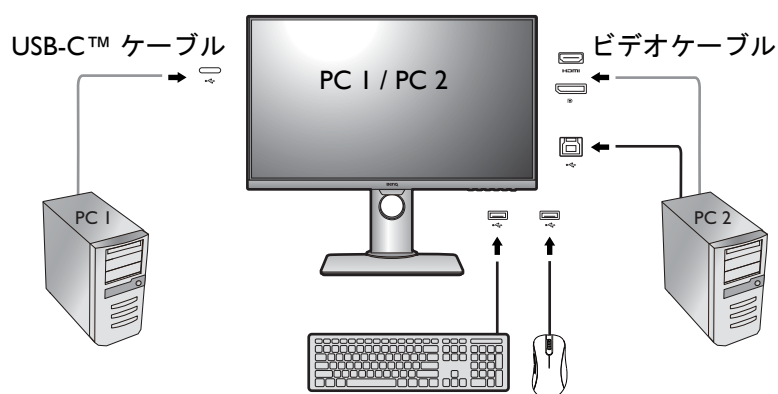
映像信号の 1 つは USB-C™ で通信するようあらかじめ定義されているため、これを変更することはできません。それ以外の信号は、使用可能な他の入力源から取り込むことが可能ですので、先に正しく設定しておく必要があります。

1. 2 つめの映像信号を正しいケーブルを使ってモニタの USB-C™ 以外の入力源の 1 つに接続します。
2. コントロールキーをどれでも押して、ホットキーメニューを開きます。☰ (メニュー) を選択してメインメニューを開きます。
3. **CPU 切替器 > ビデオ入力** を選択します。
4. 必要に応じて設定を変更します。
 - 29 ページの「シナリオ A : 2 台のコンピュータと 1 台のモニタで作業をする 場合」に対しては、今接続した入力信号を選択します。CPU 切替器から **USB Upstream** が選択されている場合は、ディスプレイと USB コントロールが USB-C™ から接続されている他の映像信号に変わります。
 - 30 ページの「シナリオ B : 2 台のコンピュータと 2 台のモニタで作業をする 場合」の場合は、なしを選択します。なぜなら、2 つの映像信号は同時に表示されるためスイッチが不要だからです。なしオプションは USB コントロールのみ切り替えます。



30 ページの「シナリオ B : 2 台のコンピュータと 2 台のモニタで作業をする 場合」に対しては、**CPU 切替器 > ビデオ入力** からなしを選択します。29 ページの「シナリオ A : 2 台のコンピュータと 1 台のモニタで作業をする 場合」に対して **CPU 切替器 > ビデオ入力** からなしが選択されており、CPU 切替器に対して **USB Upstream** が選択されている場合は、2 つめの信号からは何も表示されません。キーボードとマウスコントロールは他に切り替えられているため、現在のディスプレイを操作することはできません (USB-C™ から)。このような場合は、**入力 > 信号入力** から手動でビデオ入力を選択してください。

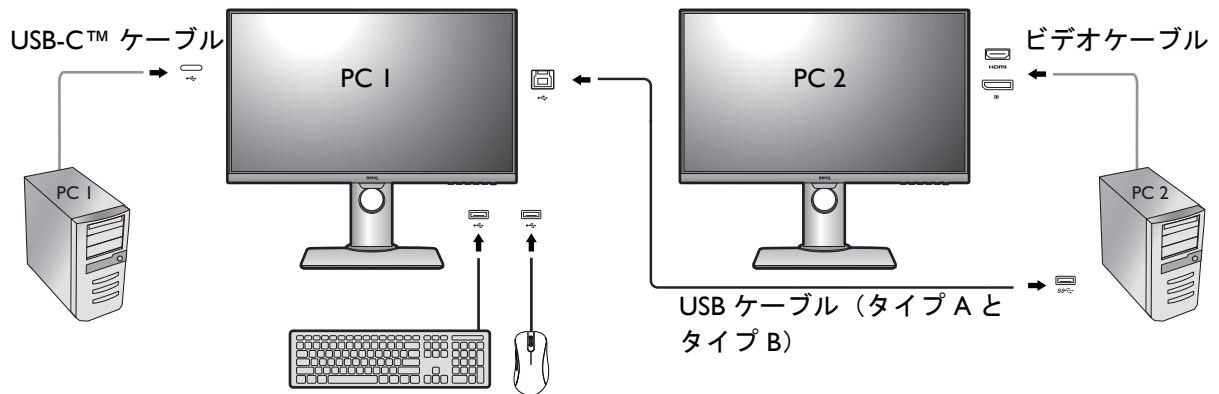
シナリオ A : 2 台のコンピュータと 1 台のモニタで作業をする 場合



1. 17 ページの「PC ビデオケーブルを接続します。」に示すとおり、ケーブル接続を行います。
2. 質問されたら、はいを選択してモニタがスタンバイモード時に USB-C™ 給電をするようにします。
3. 29 ページの「ご使用になる前に CPU 切替器用に 2 つ目の映像信号を設定します。」の手順に従って、2 つめの映像信号を設定します。

4. **CPU 切替器**を選択し、**USB-C** と **USB Upstream** を切り替えます。カスタムキーの1つが **CPU 切替器**に設定されている場合は、カスタムキーを使って切り替えることができます。

シナリオ B : 2 台のコンピュータと 2 台のモニタで作業をする場合



1. 17 ページの「PC ビデオケーブルを接続します。」に示すとおり、ケーブル接続を行います。
2. 質問されたら、はいを選択してモニタがスタンバイモード時に USB-C™ 給電をするようにします。
3. **CPU 切替器** > **ビデオ入力**を選択し、なしを選択します。
4. **CPU 切替器**を選択し、**USB-C** と **USB Upstream** を切り替えます。カスタムキーの1つが **CPU 切替器**に設定されている場合は、カスタムキーを使って切り替えることができます。

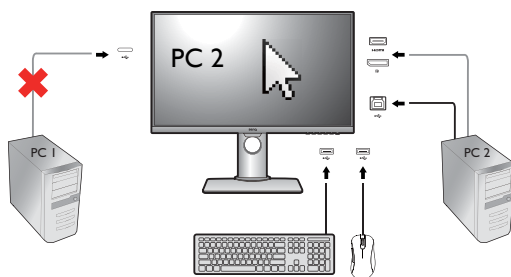
CPU 切替器の自動切換機能を有効にする

CPU 切替器 > **ビデオ入力**から 2 つめの信号を正しく設定した後は、**CPU 切替器** > **自動切換**を選択して自動切換機能を有効にすることができます。有効にすると、キーボードとマウスコントロール付きのコンピュータの電源を切るか、ケーブルを外すと、入力源と USB コントロールが自動的に別のコンピュータに切り替えられます。

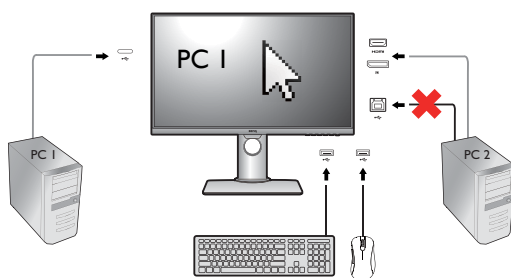


なしが **CPU 切替器** > **ビデオ入力**から選択されている場合は、CPU 切替器で映像と USB 信号を同時に切り替えられない場合があります。このような場合は、**入力** > **信号入力**から手動でビデオ入力を選択してください。

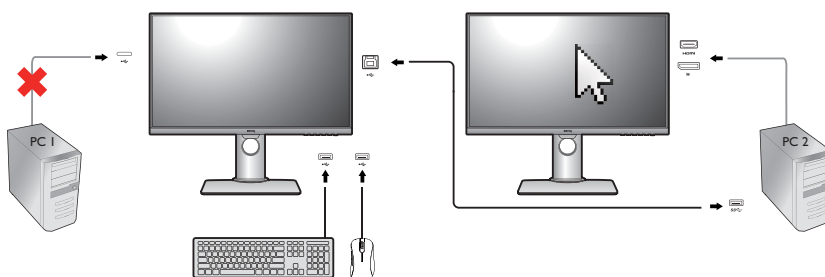
シナリオ A-1
(USB-C™ が外してある)



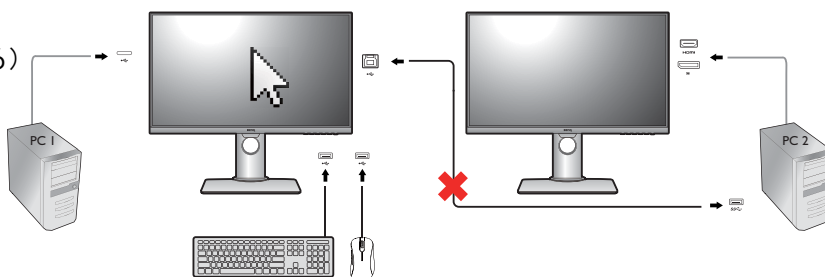
シナリオ A-2
(USB Upstream が外してある)



シナリオ B-1
(USB-C™ が外してある)



シナリオ B-2
(USB Upstream が外してある)

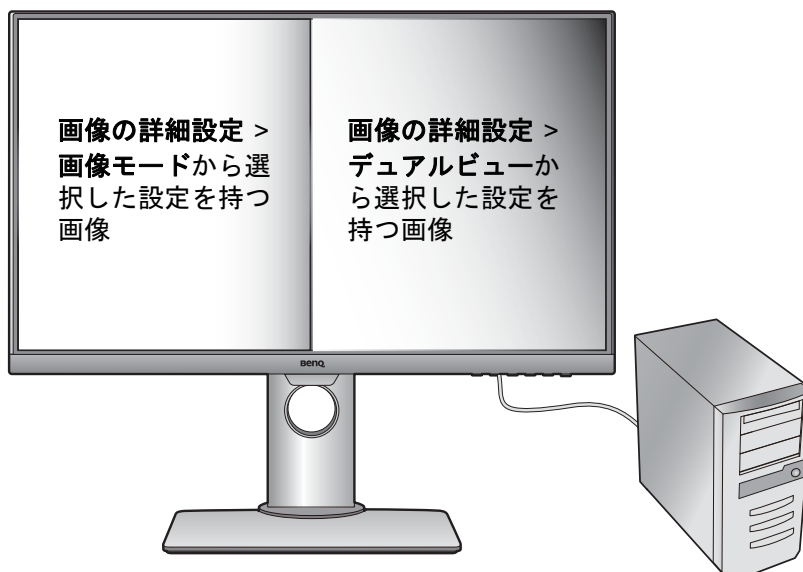


デュアルビューを使う

デュアルビューは、画像を2つのモードで横に並べて表示するため、効率よく編集することができます。

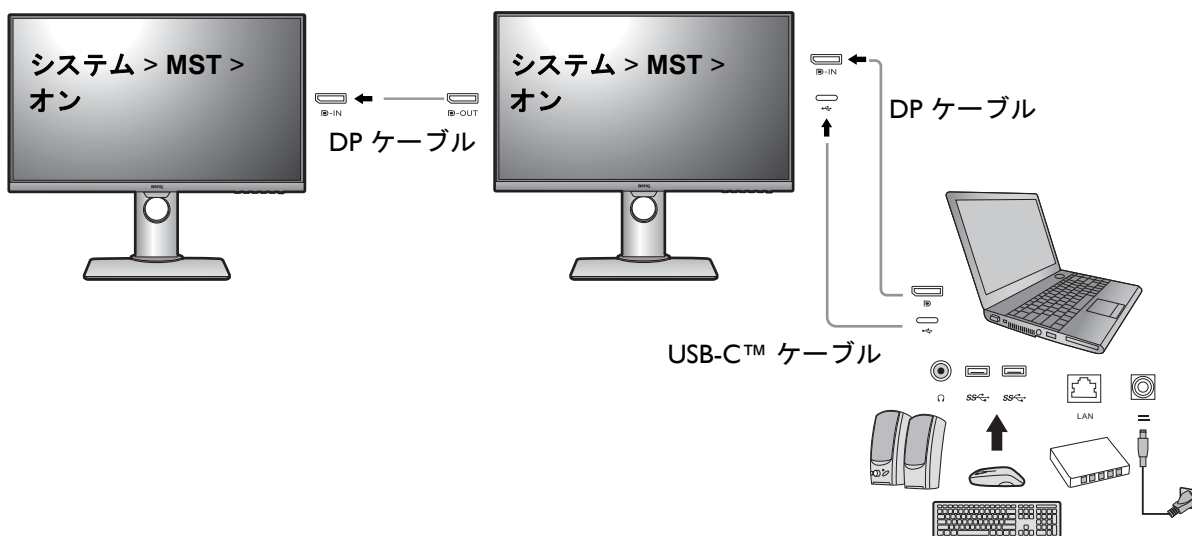
1. 画像の詳細設定 > 画像モードから画像モードを選択します。
2. 画像の詳細設定 > デュアルビューを選択します。スクリーンは2つのウィンドウに分割され、選択した画像モードは左側のウィンドウに適用されます。

3. 選択できる画像モードは、右側のウィンドウにリストされます。設定を適用したいモードを選択してください。



MST（マルチストリーム転送）を使って複数のモニタを接続する

DP-IN ポートおよび DP-OUT ポートを使って接続すると、MST 機能を使ってコンテンツを最大 4 台のモニタに出力することができます。



1. ラップトップを USB-C™ / DP ケーブルを使ってモニタの USB-C™ / DP ポートに接続します。質問されたら、はいを選択してモニタがスタンバイモード時に USB-C™ 給電をするようにします。USB-C™ ポートからは、スタンバイモードのときにもラップトップに給電されます。
2. システム > MST > オンを選択します。入力信号が検出されなければ、OSD メニューを起動したり、構成したりすることはできません。
3. 図を参考にして、DP ケーブルで 2 台目のモニタと最初のモニタを接続します。
4. 必要であれば、ステップ 3 に従って 3 台目のモニタと 4 台目のモニタを接続します。

5. ラップトップとモニタの電源を入れます。接続したすべてのモニタで、ステップ2で説明した構成を確認してください。
6. 接続したモニタにコンテンツをどのように表示したいかを、ラップトップで決定します。**複製、拡張、プロジェクタのみのいずれか**を選択します。ディスプレイを管理するためには、追加のソフトウェア（別売り）が必要となる場合があります。詳細は、購入されたソフトウェアのマニュアルをお読みください。



KVM 接続（2つのビデオソース）を維持したまま、MST 機能を有効にすると、KVM 機能は無効になります。2つのビデオソースの間で USB コントロールを切り替えるには、**入力 > 信号入力**から手動でビデオ入力を選択します。**システム > MST** から MST 機能がオフになっているときには、KVM 機能が再度有効になります。

対応解像度

MST を実行するには、画質を保証するために一定数のモニタを接続する必要があります。各モニタの画像解像度については、次をご参照ください。

設定	第 1 モニタ (PD2705Q)	第 2 モニタ (PD2705Q または対応する BenQ モニタ)	第 3 モニタ (PD2705Q または対応する BenQ モニタ)	第 4 モニタ (対応する BenQ モニタ)
1	2560 x 1440 (60Hz)	2560 x 1440 (60Hz)	該当なし	該当なし
2	2560 x 1440 (60Hz)	2560 x 1440 (60Hz)	1920 x 1080 (60Hz)	該当なし
3	2560 x 1440 (60Hz)	1920 x 1080 (60Hz)	1920 x 1080 (60Hz)	1920 x 1080 (60Hz)
4	1920 x 1080 (60Hz)	1920 x 1080 (60Hz)	1920 x 1080 (60Hz)	1920 x 1080 (60Hz)



MST については、コンピュータのグラフィックカードが DP 1.4 に対応していることを確認してください。接続できるモニタの数は、グラフィックカードによって異なります。グラフィックカードの性能については、その仕様をご覧になるか、製造元にお問い合わせください。

HDR テクノロジーを使う



- ご使用のモニタは、HDR10 コンテンツに対応しています。
- 本書に記載する HDR 対応デバイスおよびコンテンツに関する情報は、制作段階における最新の情報です。最新情報については、デバイスの製造元やコンテンツプロバイダーにお尋ねください。

HDR 機能を有効にするには、互換性のあるプレーヤーとコンテンツが必要です。

1. FHD/4K HDR プレーヤーの準備ができているか確認してください。次の名前と解像度のプレーヤーがサポートされています。FHD モニタでは 4K コンテンツはリサイズされ、1920 x 1080 で表示されます。

FHD/4K に一般的に使用されている名前（製造元ごとに異なります）	4K、4K Ultra HD、UHD、UHD 4K、Ultra HD、2160p
------------------------------------	--

HDR10 で一般的に使用される 名前 (製造元ごとに異なります)	HDR Premium、High Dynamic Range、HDR、Ultra HD Premium
---	---

- HDR コンテンツがあるか確認してください。コンテンツは 4K UHD (Blue-Ray) または Xbox One S および PS4 Pro の新しい HDR ゲームを入力源とします。
- プレーヤーとモニタが適切なケーブルで接続されているか確認してください：
 - 付属の HDMI / DP / DP - mini DP ケーブル / USB-C™ ケーブル / Thunderbolt™ 3 ケーブル (該当する場合)
 - HDMI High Speed または HDMI Premium 認証の HDMI ケーブル
 - DisplayPort 認証の DP / DP - mini DP ケーブル
 - DisplayPort 代替モード機能を備えた公式 USB-C™ ケーブル

HDR 機能を有効にする

33 ページの「HDR テクノロジーを使う」の指示に従い、入力コンテンツが HDR に対応している場合は、OSD メッセージ **HDR : オン** が画面に表示されます。コンテンツプレーヤーおよびコンテンツが HDR に対応しており、HDR 機能が有効になっていることを意味しています。モニタは ST2084 規格に基づいて HDR コンテンツを処理します。

接続が完了し、OSD メッセージが何も表示されない場合は、コンテンツプレーヤーかコンテンツのいずれか、またはその両方が HDR 互換ではありません。モニタは非 HDR コンテンツに対して最後に選択したピクチャモードのままです。

画面の輝度を自動的に調整します (輝度自動調整)



輝度自動調整機能は、特定の画像モードでのみ機能します。この機能を使用できないモードのときには、このメニュー オプションはグレー表示されます。


内蔵の光線センサーは、輝度自動調整技術と合わせて環境照明、画像の輝度、コントラストを検出し、スクリーンを自動的に調整します。画像の詳細を維持しながら、目の疲れを軽減させてくれます。

この機能を有効にするには、**エルゴノミクス > 輝度自動調整 > オン** を選択します。



輝度自動調整の性能は、光源とモニタの傾斜角度によって変わります。必要であれば、**エルゴノミクス > 感度センサー** を選択して、光源センサーの感度を調整してください。詳細は、51 ページの「感度センサー」を参照してください。

メインメニューのナビゲート

モニタの設定はすべて OSD で行うことができます。コントロールキーをどれでも押し、ホットキーメニューを開きます。 (メニュー) を選択してメインメニューを開きます。詳細は、[26 ページの「基本メニュー操作」](#)を参照してください。

選択可能なメニューオプションは、入力ソース、機能、および設定により異なる場合があります。使用できないメニュー オプションは、グレー表示されます。使用できないキーは無効になり、それに相当する OSD アイコンも消えます。特定の機能が搭載されていないモデルの場合は、それらに関連する設定とアイテムはメニューに表示されません。



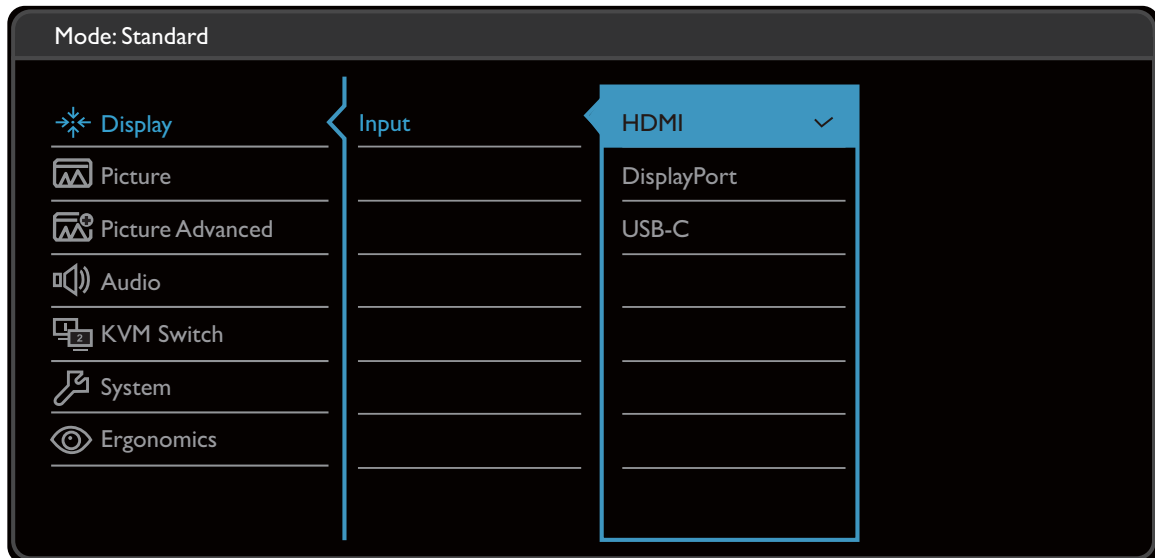
OSD メニュー言語は購入された地域で提供される製品により異なる場合があります。詳細は、システムと OSD 設定の [46 ページの「言語」](#)を参照してください。











各メニューについての詳細は、次のページを参照してください。

- [36 ページの「表示メニュー」](#)
- [37 ページの「シャープネス画像メニュー」](#)
- [39 ページの「画像の詳細設定メニュー」](#)
- [42 ページの「オーディオメニュー」](#)
- [43 ページの「CPU 切替器メニュー」](#)
- [45 ページの「システムメニュー」](#)
- [50 ページの「エルゴノミクスメニュー」](#)

表示メニュー

選択可能なメニューオプションは、入力ソース、機能、および設定により異なる場合があります。使用できないメニューオプションは、グレー表示されます。使用できないキーは無効になり、それに相当する OSD アイコンも消えます。特定の機能が搭載されていないモデルの場合は、それらに関連する設定とアイテムはメニューに表示されません。

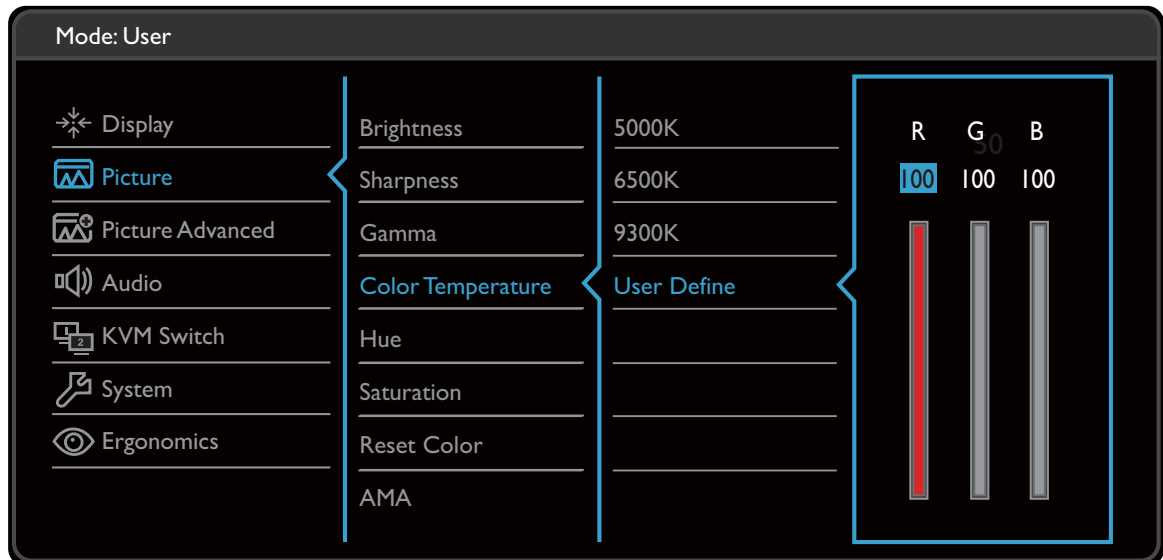


1. ホットキーメニューから  (メニュー) を選択します。
2.  または  を使って表示を選択します。
3.  を選択してサブメニューを開き、 または  を使ってメニューアイテムを選択します。
4.  または  を使って調整するか、**OK** を使って選択を行います。
5. 前のメニューに戻るには、 を選択します。
6. メニューを終了するには、 を選択します。

アイテム	機能	範囲
入力	ビデオケーブルの接続タイプに応じて入力を変更してください。	• HDMI • DisplayPort • USB-C

シャープネス画像メニュー

選択可能なメニューオプションは、入力ソース、機能、および設定により異なる場合があります。使用できないメニューオプションは、グレー表示されます。使用できないキーは無効になり、それに相当する OSD アイコンも消えます。特定の機能が搭載されていないモデルの場合は、それらに関連する設定とアイテムはメニューに表示されません。



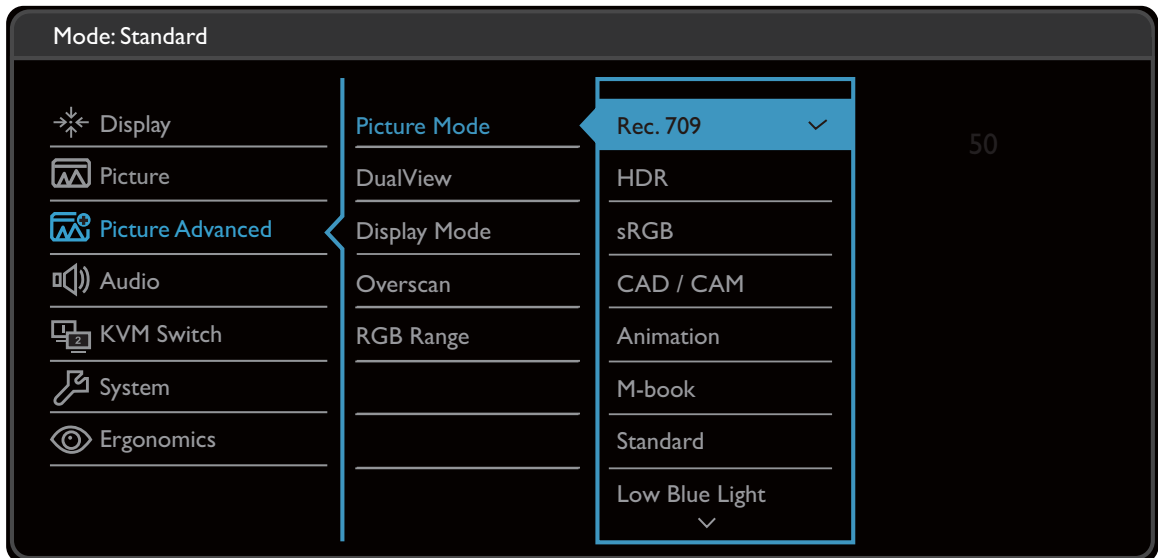
1. ホットキーメニューから (メニュー) を選択します。
2. または を使って画像を選択します。
3. を選択してサブメニューを開き、 または を使ってメニューアイテムを選択します。
4. または を使って調整するか、OK を使って選択を行います。
5. 前のメニューに戻るには、 を選択します。
6. メニューを終了するには、 を選択します。

アイテム	機能	範囲
輝度	明るいシェードと暗いシェードのバランスを調整します。	0 から 100
シャープネス	被写体の鮮明さを調整します。	1 から 10

アイテム	機能		範囲
ガンマ	トーンの輝度を調整します。デフォルト値は 2.2 (Windows の標準値) です。		<ul style="list-style-type: none"> • 1.8 • 2.0 • 2.2 • 2.4 • 2.6 • sRGB
色温度	5000K	画像の色合いを暖色系にします。これは工場設定値を新聞印刷標準の白にします。	
	6500K	ビデオや静止画を自然な色で表示します。これは工場出荷時の標準値になっています。	
	9300K	画像の色合いを寒色系にします。これは工場設定値を PC 業界標準の白にします。	
	ユーザー設定	赤、緑、青の原色を混ぜ合わせることによって、画像の色合いを変更します。次に赤、緑、青メニューに進み、設定を変更します。 この値を下げると画像の各色が変わります。たとえば、青のレベルを下げると、黄色がかかった色合いになります。緑のレベルを下げると、画像はマゼンタに近い色になります。	<ul style="list-style-type: none"> • R (0 から 100) • G (0 から 100) • B (0 から 100)
色相	人間の目に映る色の濃淡を調整します。		0 から 100
彩度	色の純度を調整します。		0 から 100
色のリセット	カスタム設定色をデフォルト値に戻します。		<ul style="list-style-type: none"> • はい • いいえ
AMA	LCD パネルのグレーレベル応答時間を短縮化します。		<ul style="list-style-type: none"> • オフ • 高 • プレミアム


画像の詳細設定メニュー




選択可能なメニューオプションは、入力ソース、機能、および設定により異なる場合があります。使用できないメニューオプションは、グレー表示されます。使用できないキーは無効になり、それに相当する OSD アイコンも消えます。特定の機能が搭載されていないモデルの場合は、それらに関連する設定とアイテムはメニューに表示されません。



1. ホットキーメニューから (メニュー) を選択します。
2. または を使って**画像の詳細設定**を選択します。
3. を選択してサブメニューを開き、 または を使ってメニューアイテムを選択します。
4. または を使って調整するか、**OK** を使って選択を行います。
5. 前のメニューに戻るには、 を選択します。
6. メニューを終了するには、 を選択します。

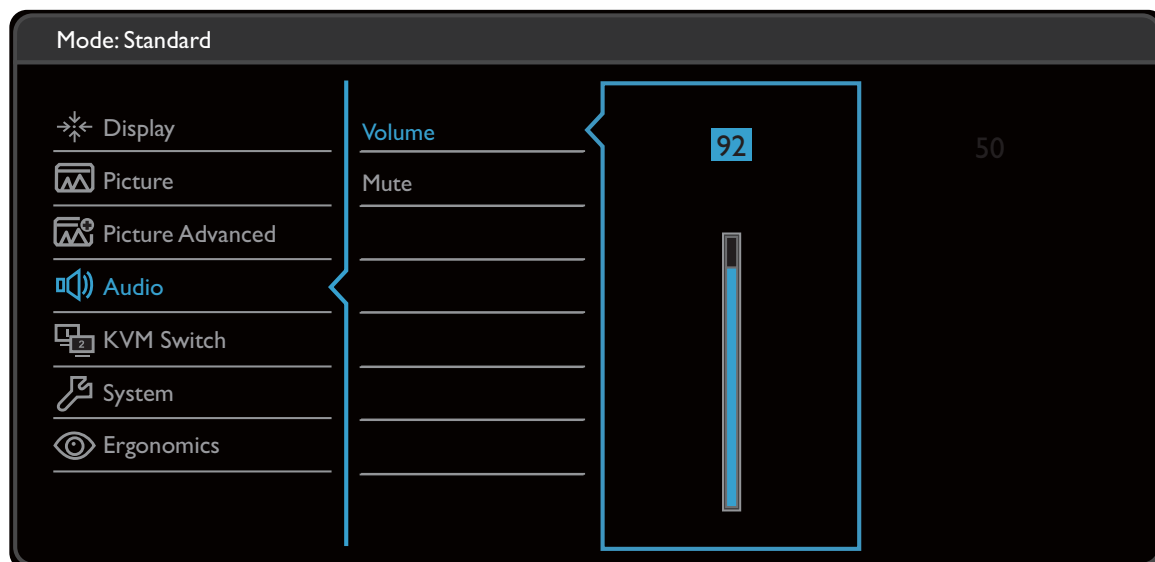
アイテム	機能		範囲
画像モード	画面に表示する画像の種類に最もあったモードを選択します。		
	Rec. 709	標準 Rec.709 でより忠実に色を再現します。	
	HDR	High Dynamic Range (HDR) テクノロジーで最高のカラーマッチングを実現します。	











アイテム	機能		範囲
sRGB	プリンタやデジタルカメラなどの周辺機器との色を一致させます。		
CAD / CAM	CAD / CAM ソフトウェアを使用する場合コントラストを強調します。		
デザイン	デザインモードを作成するときに容易に詳細な作業を行うことができるように、暗い色のコントラストを高めます。		0 から 10
M-book	モニタと接続した MacBook シリーズの視覚的差異を最小化します。		
標準	基本的な PC アプリケーション用です。		
ブルーライト軽減	<p>目に青い光があまり当たらないように、ディスプレイの青い光を軽減します。</p>  <p>各ブルーライト軽減モードの値は、標準モードと比較して青いライトがどの程度軽減されるかを示しています。</p>		
	マルチメディア	マルチメディア鑑賞用です。	
	ウェブサーフィン	インターネットサーフィン用です。	
	オフィス	ビジネスまたはオフィス環境用です。	
	閲覧	電子書籍やドキュメントの閲覧。	
暗室	暗い照明のポストプロセッシング環境で画像を編集したり、画像を表示したりするのに適しています。このモードはシェードのシャープネスと鮮明さを向上させ、より多くの詳細を表示します。		
ユーザー	ユーザー定義による画像設定の組み合わせを適用します。		

アイテム	機能	範囲	
デュアルビュー	<p>選択したモードでスクリーン画像をプレビューします。有効にすると、スクリーンの左側に画像モードから選択したモードで画像がプレビューされ、右側にここで指定したモードで画像が表示されます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • オフ • sRGB • CAD / CAM • デザイン • ブルーライト軽減 • 暗室 • M-book 	
画面モード	<p>この機能は 16:9 以外の縦横比の画像を幾何学的に歪ませることなく、正しく表示させます。</p> <p> 入力信号ソースによって、画面モードの下のオプションが変わります。</p> <p> 画像モードで行った選択によって、異なる画面モードオプションがプリセットされます。設定は必要に応じて変更してください。</p>		
	<p>全画面</p>		<p>入力画像をスクリーンに合わせて表示させます。縦横比が 16:9 の画像に適しています。</p>
	<p>縦横比</p>		<p>入力画像は幾何学的歪みを生じさせないように、できるだけ画面いっぱいに表示されます。</p>
	<p>1:1</p>		<p>入力画像はサイズを変更せずに、そのまま最高解像度で表示されます。</p>
Overscan	<p>入力イメージがやや拡大されます。イメージの周りに不要なノイズが見られるときに、この機能を使用するとこのようなノイズを消去することができます。</p> <p> 入力ソースが HDMI の場合にのみ使用できます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • オン • オフ 	
RGB 範囲	<p>カラースケールの範囲を決定します。接続したデバイスの RGB 範囲の設定と一致するオプションを選択してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 自動検出 • RGB (0 から 255) • RGB (16 から 235) 	

オーディオメニュー

選択可能なメニューオプションは、入力ソース、機能、および設定により異なる場合があります。使用できないメニューオプションは、グレー表示されます。使用できないキーは無効になり、それに相当する OSD アイコンも消えます。特定の機能が搭載されていないモデルの場合は、それらに関連する設定とアイテムはメニューに表示されません。

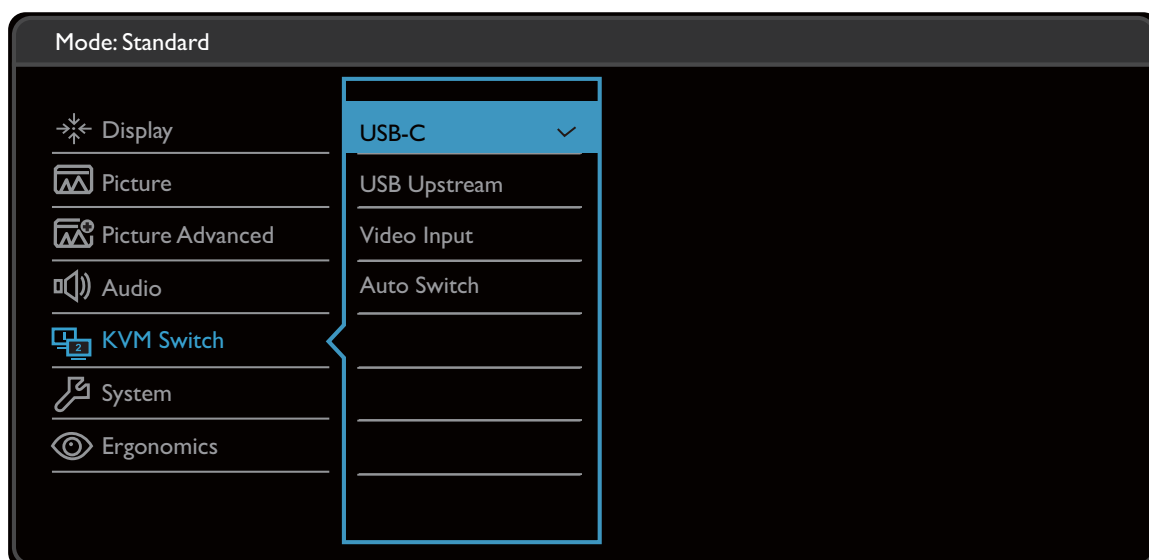












1. ホットキーメニューから  (メニュー) を選択します。
2.  または  を使ってオーディオを選択します。
3.  を選択してサブメニューを開き、 または  を使ってメニューアイテムを選択します。
4.  または  を使って調整するか、**OK** を使って選択を行います。
5. 前のメニューに戻るには、 を選択します。
6. メニューを終了するには、 を選択します。

アイテム	機能	範囲
音量調整	音量を調整します	0 から 100
ミュート	オーディオ入力を無音にします	• オン • オフ


CPU 切替器メニュー

選択可能なメニューオプションは、入力ソース、機能、および設定により異なる場合があります。使用できないメニューオプションは、グレー表示されます。使用できないキーは無効になり、それに相当する OSD アイコンも消えます。特定の機能が搭載されていないモデルの場合は、それらに関連する設定とアイテムはメニューに表示されません。



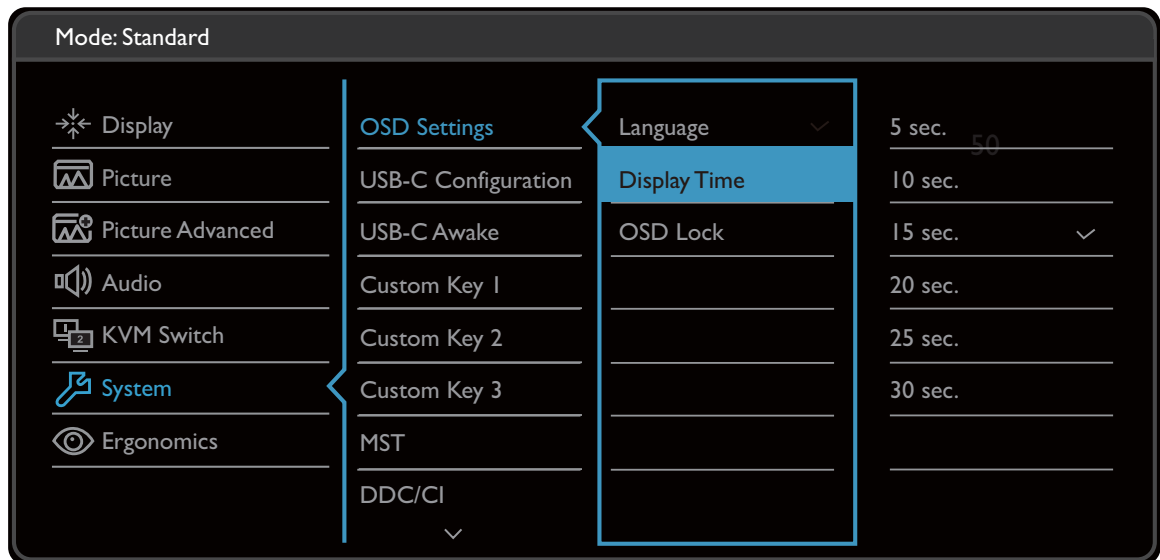
1. ホットキーメニューから  (メニュー) を選択します。
2.  または  を使って **CPU 切替器** を選択します。
3.  を選択してサブメニューを開き、 または  を使ってメニューアイテムを選択します。
4.  または  を使って調整するか、**OK** を使って選択を行います。
5. 前のメニューに戻るには、 を選択します。
6. メニューを終了するには、 を選択します。











アイテム	機能	範囲
USB-C	USB-C™ ポートに接続した入力ソース / ディスプレイを操作するキーボードとマウスを切り替えます。	



アイテム	機能	範囲
USB Upstream	USB Upstream ポートに接続した入力ソース / ディスプレイを操作するキーボードとマウスを切り替えます。この USB Upstream ポートの映像信号はあらかじめ定義しておいてください。 29 ページのご使用になる前に CPU 切替器用に 2 つ目の映像信号を設定します。 を参照してください。	
ビデオ入力	USB Upstream ポートの映像信号をあらかじめ定義します。 29 ページのご使用になる前に CPU 切替器用に 2 つ目の映像信号を設定します。 を参照してください。  30 ページのシナリオ B : 2 台のコンピュータと 2 台のモニタで作業をする 場合 に対しては、 CPU 切替器 > ビデオ入力 からなしを選択します。 29 ページのシナリオ A : 2 台のコンピュータと 1 台のモニタで作業をする 場合 に対して CPU 切替器 > ビデオ入力 からなしが選択されており、CPU 切替器に対して USB Upstream が選択されている場合は、2 つめの信号からは何も表示されません。キーボードとマウスコントロールは他に切り替えられているため、現在のディスプレイを操作することはできません (USB-C™ から)。このような場合は、 入力 > 信号入力 から手動でビデオ入力を選択してください。	<ul style="list-style-type: none"> •USB-C •DisplayPort •HDMI •なし
自動切換	有効にすると、キーボードとマウスコントロール付きのコンピュータの電源を切るか、ケーブルを外すと、入力源と USB コントロールが自動的に別のコンピュータに切り替えられます。詳細は、 30 ページの CPU 切替器の自動切換機能を有効にする を参照してください。	<ul style="list-style-type: none"> •オン •オフ

システムメニュー


選択可能なメニューオプションは、入力ソース、機能、および設定により異なる場合があります。使用できないメニューオプションは、グレー表示されます。使用できないキーは無効になり、それに相当する OSD アイコンも消えます。特定の機能が搭載されていないモデルの場合は、それらに関連する設定とアイテムはメニューに表示されません。





1. ホットキーメニューから  (メニュー) を選択します。
2.  または  を使ってシステムを選択します。
3.  を選択してサブメニューを開き、 または  を使ってメニューアイテムを選択します。
4.  または  を使って調整するか、OK を使って選択を行います。
5. 前のメニューに戻るには、 を選択します。
6. メニューを終了するには、 を選択します。

アイテム	機能		範囲
OSD 設定	言語	<p>OSD メニューの言語を選択します。</p> <p> 本製品をお求めになった地域によっては、OSD に表示される言語オプションが右図とは異なる場合があります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • English • Français • Deutsch • Italiano • Español • Polski • Český • Magyar • Română • Nederlands • Русский • Svenska • Português • 한국어 • العربية • 日本語 • 繁體中文 • 简体中文
	表示時間	OSD メニューの表示時間を調整します。	<ul style="list-style-type: none"> • 5 秒 • 10 秒 • 15 秒 • 20 秒 • 25 秒 • 30 秒
	OSD ロック	<p>モニタ設定が誤って変更されるのを防止します。この機能が有効になっている間は、OSD コントロールとホットキーはすべて無効になります。</p> <p> OSD コントロールをロック解除するには、キーをどれでも 10 秒間押し続けてください。</p>	

アイテム	機能	範囲
USB-C 構成	USB-C™ ポートを介して入力ビデオのリフレッシュレートを設定します。USB 転送速度は、USB-C™ テクノロジーの制限によりその都度変わります。詳細は、 49 ページの USB-C™ を介したデータ転送のオプション を参照してください。	
USB-C 復帰	この機能が無効に設定されている場合は、スタンバイモード中は USB-C™ ポートへの電源は供給されません。モニタがスタンバイモード中も USB-C™ ポートに電源を供給し続けるには、 オン に設定してください。	<ul style="list-style-type: none"> • オン • オフ
カスタム キー 1	カスタム キー 1 でアクセスできる機能を設定します。	<ul style="list-style-type: none"> • 画像モード • 入力
カスタム キー 2	カスタム キー 2 でアクセスできる機能を設定します。	<ul style="list-style-type: none"> • DisplayPort • USB-C
カスタム キー 3	カスタム キー 3 でアクセスできる機能を設定します。	<ul style="list-style-type: none"> • HDMI • Rec. 709 • sRGB • CAD / CAM • デザイン • M-book • ブルーライト軽減 • 暗室 • 輝度 • デュアルビュー • CPU 切替器 • コントラスト • 音量調整 • ミュート
MST	複数のモニタをデイジーチェーン接続している状態でデータを転送できます。	<ul style="list-style-type: none"> • オン • オフ

アイテム	機能	範囲
DDC/CI	<p>PC のソフトウェアからモニタ設定を行うことができます。</p> <p> Video Electronics Standards Association (VESA) により開発された DDC/CI (Display Data Channel/Command Interface の略) は、既存の DDC 規格を拡張したものです。DDC/CI 機能はソフトウェアを使ってモニタコントロールからリモート診断を送信することができます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • オン • オフ
DP 自動切換	<p>この機能を有効にすると、DP が入力オーディオ選択ループに入ります。有効にしなければ、DP は入力選択かホットキーでしか選択することができません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • オン • オフ
HDMI 自動切換	<p>この機能を有効にすると、HDMI ポートが入力自動選択ループに入ります。有効にしなければ、HDMI は入力選択かホットキーでしか選択することはできません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • オン • オフ
自動電源オフ	<p>省電力モードで、モニタが自動的にオフになるまでの時間を設定します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • オフ • 10 分 • 20 分 • 30 分
解像度についての注意	<p>モニタが新しい入力ソースを検出したときに、推奨する解像度を表示するかどうかを設定します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • オン • オフ
情報	<p>モニタのプロパティ設定を表示します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 入力 • 現在の解像度 • 最適解像度 • HDR
DisplayPort	<p>データ転送用の適切な DP 規格を選択してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 1.1 • 1.4

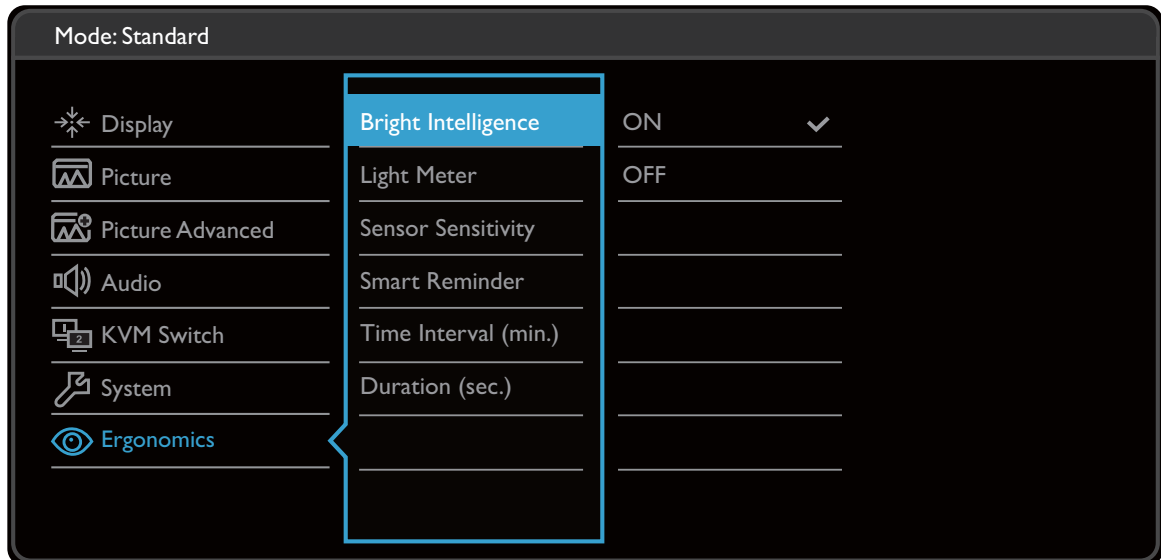
アイテム	機能	範囲
残像クリーナー	<p>静止画を長時間表示したままにしておくと、スクリーンの焼け付き、または残像が生じる場合があります。この機能を有効にすると、いくつかのデフォルトのパターンを表示することで線や影がスクリーンに現れる現象を軽減することができます。</p> <p> この機能を無効にするには、コントロールキーをどれでも押してください。</p> <p> スクリーンの焼け付きはパネルの特性によるものであり、製造上生じ得るものをご理解ください。スクリーンの焼け付きを防止するために、初めてお使いになるときには静止画を長時間表示し続けしないでください。コンピュータの電力管理機能を使用します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • はい • いいえ
OSD キーの明度	電源キーの LED ライトの明るさを調整します。	<ul style="list-style-type: none"> • オン • オフ
すべて元に戻す	すべてのモード、色、その他の設定を工場出荷時のデフォルト値に戻します。	<ul style="list-style-type: none"> • はい • いいえ

USB-C™ を介したデータ転送のオプション

PD2705Q	2560 × 1440 + USB 2.0	2560 × 1440 + USB 3.1
リフレッシュレート	60 Hz	60 Hz
USB 転送速度	480 Mbps	5 Gbps


エルゴノミクスメニュー

選択可能なメニューオプションは、入力ソース、機能、および設定により異なる場合があります。使用できないメニューオプションは、グレー表示されます。使用できないキーは無効になり、それに相当する OSD アイコンも消えます。特定の機能が搭載されていないモデルの場合は、それらに関連する設定とアイテムはメニューに表示されません。



1. ホットキーメニューから (メニュー) を選択します。
2. または を使ってエルゴノミクスを選択します。
3. を選択してサブメニューを開き、 または を使ってメニューアイテムを選択します。
4. または を使って調整するか、OK を使って選択を行います。
5. 前のメニューに戻るには、 を選択します。
6. メニューを終了するには、 を選択します。

アイテム	機能	範囲
輝度自動調整	輝度自動調整機能をオンまたはオフにします。内蔵の光線センサーは、輝度自動調整技術と合わせて環境照明、画像の輝度、コントラストを検出し、スクリーンを自動的に調整します。	・オン ・オフ
光量メーター	メーター画面にスクリーン周辺の照明状況を表示します。	・オン ・オフ

アイテム	機能	範囲
感度センサー	光源センサーの感度を調整して、検出される輝度範囲を変更します。このようにすると、光源検出で不均等な光を補正できます。	0 から 100
スマート通知	目を休めるように注意を促すメッセージを表示するかどうかを決定します。	<ul style="list-style-type: none"> • オン • オフ
合間の長さ (分)	アラーム メッセージの間隔を設定します。	<ul style="list-style-type: none"> • 20 • 40 • 60 • 80 • 100
長さ (秒)	<p>アラーム メッセージを画面に表示しておく長さを設定します。</p> <p> アラーム メッセージが表示されたときに電源ボタン以外のキーを押すと、メッセージを隠すことができます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 5 • 10 • 15 • 20 • 25

トラブルシューティング

よくある質問 (FAQ)

イメージング

? 画像がぼやける。

✓ ウェブサイトから **Resolution file (解像度ファイル)** をダウンロードします (3 ページの「製品サポート」を参照してください)。「スクリーン解像度の調整」を参照してください。その後、最適な解像度とリフレッシュ レートを選択し、ステップに従って調整してください。

? ネイティブ (最大) 解像度より低い解像度でのみぼやけが発生する場合 :

✓ ウェブサイトから **Resolution file (解像度ファイル)** をダウンロードします (3 ページの「製品サポート」を参照してください)。「スクリーン解像度の調整」を参照してください。ネイティブ解像度を選択します。

? ピクセル エラーが表示される。

一部のピクセルが常時点灯したまま、または点灯しないままであったり、赤、緑、青、その他の色になったままの場合

✓ • LCD スクリーンをきれいに掃除してください。

• 電源のオン / オフを切り替え。

• モニタの動作中に常時点滅する画素が少々存在することがありますが、これは液晶技術で一般的に発生する状況で、故障ではありません。

? 画像が不自然な色で表示される。

✓ 画像が黄、青、または薄いピンク色で表示される場合。

画像と色のリセットを選択した後、はいを選択して色設定を初期値に戻します。

それでもイメージが正しく表示されず、OSD が不自然な色で表示されている場合は、3つの基本色のうちいずれかの信号入力が行われていません。信号ケーブルのコネクタをチェックしてください。ピンが曲がったり破損している場合は、販売店にご相談ください。

? 画像がゆがむ、フラッシュする、ちらつく。

✓ ウェブサイトから **Resolution file (解像度ファイル)** をダウンロードします (3 ページの「製品サポート」を参照してください)。「スクリーン解像度の調整」を参照してください。その後、最適な解像度とリフレッシュ レートを選択し、ステップに従って調整してください。

? モニタは最高解像度に設定されていますが、画像はまだ歪んでいます :

✓ 異なる入力ソースの画像は、モニタの最高解像度で表示すると歪んだり、引き伸ばされたりする場合があります。それぞれの入力ソースを最高の状態で表示するには、**画面モード**で入力ソースに合った適切な縦横比を設定してください。詳細は、41 ページの「画面モード」を参照してください。

- ① 画像が片側に寄ってしまう。
- ② ウェブサイトから **Resolution file**（解像度ファイル）をダウンロードします（3 ページの「製品サポート」を参照してください）。「スクリーン解像度の調整」を参照してください。その後、最適な解像度とリフレッシュ レートを選択し、ステップに従って調整してください。
- ③ スクリーン上に表示される静止画像に薄い影が写ることがあります：
- ④
 - ・省電力機能を有効にして、コンピュータとモニタを一定時間使用しない状態が続いた場合、低消費電力の「スリープ」モードに入るようにしてください。
 - ・画像の残像が残らないようにスクリーンセーバをお使いください。

電源 LED インジケータ

- ① LED は白かオレンジ色です。
- ②
 - ・LED が白く点灯しているときには、モニタの電源が入っています。
 - ・LED が白く点灯し、画面に**範囲外です**というメッセージが表示されている場合は、モニタがサポートしていない画面モードを使用しています。モニタがサポートするモードのいずれかに設定を変更してください。ウェブサイトから **Resolution file**（解像度ファイル）をダウンロードします（3 ページの「製品サポート」を参照してください）。「スクリーン解像度の調整」を参照してください。その後、最適な解像度とリフレッシュ レートを選択し、ステップに従って調整してください。
 - ・LED がオレンジ色に点灯している場合は、省電力モードが有効になっています。コンピュータのキーボードで任意のキーを押すか、マウスを動かしてください。それでも解決しない場合は、信号ケーブルのコネクタをチェックしてください。ピンが曲がったり破損している場合は、販売店にご相談ください。
 - ・LED がオフであれば、電源のメイン ソケット、外部電源、メイン スイッチをチェックしてください。

OSD コントロール

- ① OSD コントロールにアクセスできません。
- ② ロックされた状態にプリセットされている OSD コントロールをロック解除するには、キーをどれでも 10 秒間押し続けてください。

OSD メッセージ

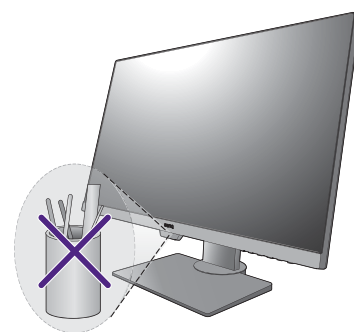
- ① コンピュータがブートアップする間、「範囲外です」というメッセージが表示される。
- ② コンピュータがブートアップする間、「範囲外です」というメッセージが表示される場合は、オペレーティング システムまたはグラフィック カードがコンピュータと互換性の問題があることを意味しています。システムが自動的にリフレッシュ レートを調整します。オペレーティング システムが起動するまでお待ちください。

オーディオ

- ❓ 内蔵スピーカーから音が出ない。（特定モデルのみ）
- ✔
 - オーディオ信号を入力するためのケーブルが正しく接続されていることを確認してください。詳細は、18 ページの「ヘッドフォンを接続します。」を参照してください。
 - 音量を上げてください（音量が無音になっているか、低すぎる場合があります）。
 - ヘッドフォンや外付けスピーカーを外してください。（それらがモニタに接続されている場合は、内蔵スピーカーは自動的に無音になります。）
- ❓ 外付けスピーカーから音が出ない。
- ✔
 - ヘッドフォンを外してください（モニタにヘッドフォンが接続されている場合）。
 - 出力が正しく接続されていることを確認してください。
 - 外付けスピーカーが USB デバイスである場合は、正しく接続されていることを確認してください。
 - 外付けスピーカーの音量を上げてください（音量が無音になっているか、低すぎる場合があります）。
 - USB-C™ 接続が完了したら、ラップトップで適切なオーディオ出力設定が選択されていることを確認してください。「USB ヘッドフォン」のようなオプションを探してください。

センサー

- ❓ モニタのライトセンサーが正常に機能しません。
- ✔ ライトセンサーはモニタの正面下にあります。次のことを確認してください：
 - センサー保護ステッカーを外してある場合。
 - 輝度自動調整機能がオンに設定されているかどうか。エルゴノミクス > 輝度自動調整を確認してください。
 - センサーが照明を正確に検出するのを妨げる物体がモニタの前にはないかどうか。
 - センサーの前に明るい色の物体または服がないかどうか。明るい色（特に白と蛍光色）は明かりを反射するため、センサーが主要な光源を検出できません。



MST 接続

- ❓ MST 機能は使用できません。
- ✔️ • システム > **MST** でオンが選択されていることを確認します。
- ✔️ • MST については、コンピュータのグラフィックカードが DP 1.4 に対応していることを確認してください。
- ✔️ • コンピュータの互換性は、ハードウェアやソフトウェアによって異なります。お使いのシステムを MST に対応させるために、すべてのケーブル、仕様、設定を確認する必要があります。Mac コンピュータをお使いの場合は、Windows システムでお試してください。MST は、Thunderbolt 接続でのみ Mac OS で使用できます。

CPU 切替器

- ❓ CPU 切替器 > **USB Upstream** を選択した後、応答がありません。
- ✔️ ケーブルの接続状況とメニュー設定を次の順番で確認してください。
- ✔️ • 適切なケーブルがモニタと 2 つ目の映像信号に正しく接続されているか確認してください。詳細は、17 ページの「[PC ビデオケーブルを接続します。](#)」を参照してください。
- ✔️ • 映像信号が **CPU 切替器 > ビデオ入力** で 2 つ目の映像信号に選択されていることを確認してください。

USB-C™ 接続

- ❓ USB-C™ 接続ではラップトップから音声も画像も出力されません。
- ✔️ ケーブルの接続状況とメニュー設定を次の順番で確認してください。
- ✔️ • USB-C™ ケーブルがモニタとラップトップに正しく接続されているか確認してください。詳細は、17 ページの「[PC ビデオケーブルを接続します。](#)」を参照してください。
- ✔️ • **表示 > 入力** で入力源が **USB-C** になっているか確認してください。

それでも解決できないときは

このガイドの指示に従って調整を行っても問題が解決しない場合には、お買い上げいただいた販売店にご連絡いただくか、[Support.BenQ.com](https://support.benq.com) まで電子メールにてお問い合わせください。